

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	31100	女性保護事業費	内線	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市人権施策推進指針／第3次高山市男女協働参画基本計画	市長公約	4 個人・家庭・地域を大切に作る社会を築きます ・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。
番枝				款	3	民生費		分野	1	地域福祉	実施計画事業	女性保護事業		
担当課	福祉部 子育て支援課	2911	項	1	社会福祉費	基本施策	1	地域における支えあいの仕組みをつくる	H25実施計画額	200 千円				
			目	1	社会福祉総務費	施策	1	支えあう心の育成						

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	すべての女性	どうしたいのか(意図)	女性に関するあらゆる相談に応じ、必要な指導及びこれらに付随する業務を行うことにより、女性の人權の擁護と男女平等の実現を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	女性相談員を1名配置する。 配偶者の暴力等の相談に対する助言・指導、女性相談センターとの連携。 女性に関する様々な相談に対する助言・指導、他機関との連携。
	対象者数	48,728 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	女性相談員1名の配置による相談業務 DV防止啓発のための研修会、チラシの配布							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	女性相談件数	件	目標値	170	200	150	150
				実績値	153	119		
				算出根拠等	達成率(%)	90	60	
	活動指標	デートDV防止啓発チラシ作成配布枚数	枚	目標値		3,500	3,500	3,500
				実績値		3,500		
				算出根拠等	達成率(%)		100	
	活動指標	DV防止啓発リーフレット作成配布枚数	枚	目標値		30,600	31,000	31,000
				実績値		30,600		
				算出根拠等	達成率(%)		100	
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績値					
			達成率(%)					
補足			目標値					
			実績値					
			達成率(%)					

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	複雑化する相談内容に対応するためには、警察、県女性保護センター等関係機関との連携強化が必要である。
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	県婦人相談員連絡協議会や飛騨圏域DV防止協議会に参加し関係機関との連携を強化する。						
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> <td>近年の相談はより複雑化してきており、生活保護、介護、障がい、外国人等々関係機関も多くなっている。相談の内容に応じ各機関との連携を図り対応していく。 DV防止について一層の啓発活動を行う。</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> <td>(担当課評価に同じ)</td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	近年の相談はより複雑化してきており、生活保護、介護、障がい、外国人等々関係機関も多くなっている。相談の内容に応じ各機関との連携を図り対応していく。 DV防止について一層の啓発活動を行う。	二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)
	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	近年の相談はより複雑化してきており、生活保護、介護、障がい、外国人等々関係機関も多くなっている。相談の内容に応じ各機関との連携を図り対応していく。 DV防止について一層の啓発活動を行う。				
二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)					

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	119	481	645	587
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	778	4,042	4,300	3,913
	受益者: 相談者	(B)	153	119	150	150

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	・女性相談員の配置による相談業務 ・DV防止推進の啓発	要求のポイント	・DV防止啓発用チラシ作成	事業実施の課題	・女性相談事業については、相談総数は対23年度では減少しているがDV関連件数は広報啓発活動により、増加傾向にある。内容についても複雑化しており、警察や女性相談センターなど関係機関との連携の強化が必要となっている。
------	--------------------------------	---------	---------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		645	587	△ 58	525	525	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	24	24	0	24	24		
	県支出金			0				
	その他	420		△ 420				
	一般財源	201	563	362	501	501		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32103 番枝	留守家庭児童対策事業費	予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約 7 将来を担う子どもを守り育てます
担当課	福祉部	子育て支援課	内線	款	3 民生費		分野	2 児童福祉	実施計画事業	留守家庭児童対策事業	
			2946	項	2 児童福祉費		基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	55,000 千円	
				目	1 児童福祉総務費		施策	2 子育て環境の整備			

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	小学校1年生から3年生までの児童	どうしたいのか(意図)	放課後、家庭に保護者のいない児童に対し、学習や遊びを通じて健全育成を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	NPO法人への運営委託による留守家庭児童教室の開設
	対象者数	2,420 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	市内15教室において681人が入室利用 事業委託先「学童保育すまいる高山」へ平成20年度より継続して事業委託している。 【H23年度拡充】 開設日 夏休み23日(+3日) 冬休み5日間程度(+3日) 開設時間 下校時~18:30 (18:00~18:30に拡充) 振替休業日・夏休みなど 8:00~18:30 (8:30~8:00、18:00~18:30に拡充)							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	開設箇所数	箇所	目標値	15	15	15	15
		実績値	15	15				
		算出根拠等	達成率(%)	100	100			
	活動指標	各教室リーダー指導員会議	回	目標値	11	11	11	11
		実績値	11	11				
		算出根拠等	達成率(%)	100	100			
	活動指標	利用児童者(延べ人数)	人	目標値	8,000	7,500	7,500	7,500
		実績値	8,376	7,534				
		算出根拠等	毎月1日付け人数×12ヶ月分	達成率(%)	105	100		
	算出根拠等		%	目標値				
		実績値						
達成率(%)								
算出根拠等		%	目標値					
	実績値							
	達成率(%)							
算出根拠等			目標値					
	実績値							
	達成率(%)							
補足								

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	各教室の利用者が定員以下の場合や一時的に定員を超える教室もあり、各教室の状況について確認が必要である。利用者へのニーズ調査や市全体として4年生以上の受け入れ・地域力の活用について検討していく必要がある。
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	市民の学童保育に対するニーズを確認しながら、市として4年生以上の受け入れや未開設地のニーズを調査していく。																	
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">留守家庭児童教室が、必要な市民に提供できるよう制度の趣旨を周知徹底するとともに、市として4年生以上の受け入れや留守家庭児童教室の未開設地での開設についても、利用者等へのニーズ調査結果も踏まえて、地域力を活用しながらを検討していく。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> <li>留守家庭児童教室の未開設地域については、地域の社会教育の枠組みの中で対応できないか検討する必要がある。</li> <li>国の子ども・子育て新システムの動向を注視しながら今後の留守家庭児童教室のあり方を検討する必要がある。</li> <li>留守家庭児童教室の開設場所について検討する必要がある。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善	留守家庭児童教室が、必要な市民に提供できるよう制度の趣旨を周知徹底するとともに、市として4年生以上の受け入れや留守家庭児童教室の未開設地での開設についても、利用者等へのニーズ調査結果も踏まえて、地域力を活用しながらを検討していく。		拡大		縮小	二次評価	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>留守家庭児童教室の未開設地域については、地域の社会教育の枠組みの中で対応できないか検討する必要がある。</li> <li>国の子ども・子育て新システムの動向を注視しながら今後の留守家庭児童教室のあり方を検討する必要がある。</li> <li>留守家庭児童教室の開設場所について検討する必要がある。</li> </ul>		拡大		縮小		廃止検討	
	担当課評価	○ 維持・改善	留守家庭児童教室が、必要な市民に提供できるよう制度の趣旨を周知徹底するとともに、市として4年生以上の受け入れや留守家庭児童教室の未開設地での開設についても、利用者等へのニーズ調査結果も踏まえて、地域力を活用しながらを検討していく。															
	拡大																	
	縮小																	
二次評価	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>留守家庭児童教室の未開設地域については、地域の社会教育の枠組みの中で対応できないか検討する必要がある。</li> <li>国の子ども・子育て新システムの動向を注視しながら今後の留守家庭児童教室のあり方を検討する必要がある。</li> <li>留守家庭児童教室の開設場所について検討する必要がある。</li> </ul>																
	拡大																	
	縮小																	
	廃止検討																	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	48,346	54,878	57,180	57,310
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	67,241	83,655	87,165	85,283
	受益者 利用児童数	(B)	719	656	656	672

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	留守家庭児童教室の開設(15教室) 土曜開設(6教室)	要求のポイント	事業実施の課題
			景気の低迷を受けた共働き家庭の増加などにより、今後も留守家庭児童教室のニーズは高まることが予想される。そのため、真にこのサービスが必要な市民に提供できるよう制度の趣旨を周知徹底するとともに、利用者ニーズを把握のうえ、児童受け入れと開設可能場所の状況を確認し、開設方針について検討していく。 また、留守家庭児童教室の教室未開設地での開設についても、地域との協働の取り組みについても地域の考えを確認しながら方針を検討する。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		57,180	57,310	130	57,180	57,180	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	18,547	18,047	△ 500	16,985	16,985		
	その他	22,342	24,840	2,498	25,230	25,230		
	一般財源	16,291	14,423	△ 1,868	14,965	14,965		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32104 番枝	障がい児等体験学習事業費	内線	2911	会計	1 一般会計	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約 7 将来を担う子どもを守り育てます
担当課	福祉部 子育て支援課			款	3 民生費	分野	2 児童福祉	実施計画事業	障がい児等体験学習事業		
				項	2 児童福祉費	基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	1,000 千円		
				目	1 児童福祉総務費	施策	1 子育て不安の解消				

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	障がいを抱えている児童及びその保護者	どうしたいのか(意図)	障がい等を抱えている児童の学校の長期休暇中における居場所や余暇活動の場を提供することにより、対象児童の社会性を養うとともに、保護者の養育支援を行う。	概要	事業の実手法(手段)	学校の長期休暇中に障がい児等を対象とした学童保育を実施できる団体へ業務を委託する。
	対象者数	400 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	学校の冬休み・学年末期間中に障がい児を対象とした体験教室をNPO法人に委託。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	体験教室開催日数	日	目標値		15	25	25
				実績値		15		
		算出根拠等		達成率(%)		100		
	活動指標	体験教室参加者数	人	目標値		220	370	375
				実績値		198		
		算出根拠等		達成率(%)		90		
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績値					
	算出根拠等		達成率(%)					
補足								

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	利用者の安全を確保し各種体験事業を取り入れながら、利用希望者に対する利用調整と指導員の確保、常時使用できる場所の確保が必要である。
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	夏休み期間中は清見公民館、春冬は総合福祉センターを利用し、特色ある体験活動を行う。	
次年度の実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	障がいを持つ子どもたちにも長期休業中の居場所を確保し、様々な体験をさせるための事業として実施していく。
	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	0	700	1,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)		3,535	2,703
	受益者 教室参加者	(B)	0	198	370

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	学校の夏季・冬季・学年末休業期間中に体験教室を開催する。	要求のポイント	学校の夏季・冬季・学年末の長期休業中、障がいや不登校などの問題を持つ児童に対し、体験活動の場を提供し対象児童の健全な育成と養育者の負担軽減を図る	事業実施の課題	安定した事業実施場所の確保を図る。 参加希望者の増加が予想されるが、それに対応した運営実施を図っていく必要がある。
------	------------------------------	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,000	1,000	0	1,000	1,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	75		△ 75	75	75		
	一般財源	925	1,000	75	925	925		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32106 番枝	母子父子福祉推進事業費	内線	2911	予算	会計 1 一般会計 3 民生費 2 児童福祉費 1 児童福祉総務費	総合計画	政策 2 「やさしさ」のあるまちをめざして 分野 2 児童福祉 基本施策 1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる 施策 1 子育て不安の解消	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約	7 将来を担う子ども子どもを守り育てます
担当課	福祉部 子育て支援課											
									実施計画事業	母子父子福祉推進事業		
									H25実施計画額	4,100 千円		

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	ひとり親家庭	どうしたいのか(意図)	ひとり親家庭における諸問題の相談や指導及び援助を実施することにより、福祉の向上を図る。母子家庭の雇用の安定と就業の促進を図るための給付金を支給する。	概要	事業の実手法(手段)	家庭児童相談室に母子自立支援員(兼務)を配置 母子及び寡婦世帯の福祉の向上を目的に母子寡婦福祉会に補助金を交付 母子家庭の就業支援を目的に母子家庭就業支援事業補助金を交付
	対象者数	850 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	母子自立支援員の設置により、各種相談を受け、指導・援助等支援を行う。 母子家庭就業支援事業補助金を交付。 母子寡婦福祉会に補助金を交付。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	新規母子父子相談件数	件	目標値		200	200	200
				実績値		155		
				達成率(%)		78		
	算出根拠等							
	活動指標	自立支援教育訓練給付金件数	件	目標値	3	8	5	5
				実績値	2	3		
				達成率(%)	67	38		
	算出根拠等							
	活動指標	高等職業訓練給付金件数	件	目標値	2	2	1	1
				実績値	0	0		
				達成率(%)	0	0		
	算出根拠等							
	成果指標	自立支援教育訓練給付金受給者就職率	%	目標値		100	100	100
				実績値		100		
達成率(%)					100			
算出根拠等								
算出根拠等								
算出根拠等								
算出根拠等								
補足								

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	母子父子家庭の安定を目指し支援する制度(自立支援教育訓練給付金・高等職業訓練促進給付金・母子寡婦福祉資金貸付制度(県事業)・母子家庭就業支援事業)について一層の周知を図っていく必要がある。
-----------------	--

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	母子家庭就業支援事業補助金について、広報紙・HitsFM・母子寡婦福祉会での広報や児童扶養手当受給者への制度周知を進める。相談事業の継続により母子父子などのひとり親世帯への支援を行う。		
次年度の実施方針	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	母子寡婦福祉会への補助金交付は継続実施し、母子寡婦世帯の交流、相談、情報交換を行う。母子家庭就業支援事業については、該当者に個別に周知するなど広報に努め利用を促進し就業の支援を図る。
	二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・高等職業訓練の利用実績がないことについての要因を見極め適切に対応する必要がある。

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 479	537	2,156	2,150
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 239,500	179,000	359,333	358,333
	受益者 給付金受給者	(B) 2	3	6	6

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	・母子自立支援相談員の設置による相談業務 ・母子家庭就業支援 ・高山市母子寡婦福祉会への助成	要求のポイント	・自立支援教育訓練給付金(2/3、上限10万円)、高等職業訓練促進給付金(月10万円)による支援	事業実施の課題	・母子家庭就業支援事業について、対象世帯へ広く広報活動を行い周知を徹底し利用の促進を図る必要がある
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,156	2,150	△ 6	2,156	2,156	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	967	60	△ 907	67	67		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,189	2,090	901	2,089	2,089		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32109 番枝	家庭児童相談室運営事業費	会計	1 一般会計	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約 7 将来を担う子どもを守り育てます
			款	3 民生費	分野	2 児童福祉	実施計画事業	家庭児童相談室運営事業	
担当課		福祉部 子育て支援課	項	2 児童福祉費	基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	200 千円	
		内線 2911	目	1 児童福祉総務費	施策	1 子育て不安の解消			

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	0歳～18歳までの児童及びその保護者	どうしたいのか(意図)	児童の養育に関する相談や指導及び援助のほか、児童虐待通報への対応を行うことにより、子どもの福祉の向上を図るとともに権利を養護する。	概要	事業の実手法(手段)	家庭児童相談室に専任の相談員を配置して相談を受ける。
	対象者数	16,690 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	児童虐待通告への対応や家庭における児童養育の相談を受け、指導支援した。障がいを持つ子とその保護者の相談に応じ支援を行った。また保育園・小学校への引き継ぎなど途切れない支援を行った。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	新規相談受付件数	件	目標値	500	500	500	500
				実績値	410	315		
				算出根拠等	達成率(%)	82	63	
	活動指標	ネットワーク会議開催件数	件	目標値	30	30	30	30
				実績値	20	16		
				算出根拠等	達成率(%)	67	53	
	活動指標	家庭児童相談員幼稚園保育園訪問件数	件	目標値	28	28	28	28
				実績値	27	27		
				算出根拠等	達成率(%)	96	96	
				目標値				
				実績値				
算出根拠等				達成率(%)				
			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足								

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	相談事例は年々複雑多様化しており、特に近年急増する発達障がいを含めた障がい関連事案が急増している。
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	要保護児童等対策地域協議会を中心に保育士・保健師や子ども相談センターなど関係機関と連携を図りながら相談業務にあたる。						
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td> <input type="radio"/> 維持・改善  <input type="radio"/> 拡大  <input type="radio"/> 縮小  <input type="radio"/> 廃止検討                 </td> <td>                     発達障がいと早期療育への認識の広がりから障がい関連の相談が増大しており、今後も多様化複雑化していくものと予想されるため体制を整備し相談に対応していく。                      要保護児童等対策地域協議会を中心に、各関係機関との情報共有と連携の強化を図る。                 </td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td> <input type="radio"/> 維持・改善  <input type="radio"/> 拡大  <input type="radio"/> 縮小  <input type="radio"/> 廃止検討                 </td> <td>(担当課評価に同じ)</td> </tr> </table>	担当課評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	発達障がいと早期療育への認識の広がりから障がい関連の相談が増大しており、今後も多様化複雑化していくものと予想されるため体制を整備し相談に対応していく。 要保護児童等対策地域協議会を中心に、各関係機関との情報共有と連携の強化を図る。	二次評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	(担当課評価に同じ)
	担当課評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	発達障がいと早期療育への認識の広がりから障がい関連の相談が増大しており、今後も多様化複雑化していくものと予想されるため体制を整備し相談に対応していく。 要保護児童等対策地域協議会を中心に、各関係機関との情報共有と連携の強化を図る。				
二次評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	(担当課評価に同じ)					

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 132	168	207	314
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 322	533	414	628
	受益者: 新規相談者	(B) 410	315	500	500

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の養育に関する各種相談を受け、それに対する指導・助言及び関係機関への紹介を行う。</li> <li>障がいを持つ児童に関しての相談を受け支援を行う。</li> <li>児童虐待の通報に対する対応を行う。</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいを持つ児童に対し、就園・就学の各時期への支援の継続を行うなど途切れない支援を推進する。</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達に関する住民意識の向上により、発達障がい関連の相談・支援が増加しており保健・保育部門や子ども相談センターや医療機関などの専門機関との連携の強化が必要である。</li> </ul>
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		207	314	107	207	207	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	80	0	△ 80				
	その他			0				
	一般財源	127	314	187	207	207		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32112	児童遊園地管理費	内線	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約	7 将来を担う子どもを守り育てます
番枝				款	3	民生費		分野	2	児童福祉	実施計画事業	児童遊園地管理事業		
担当課	福祉部 子育て支援課	2946	項	2	児童福祉費	基本施策	1	次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	5,000	千円			
			目	1	児童福祉総務費	施策	2	子育て環境の整備						

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	児童及び地域住民	どうしたいのか(意図)	児童遊園地を管理することにより、児童の健全育成・健康増進を図る。	概要	事業の実手法(手段)	児童福祉法に基づき児童遊園地6ヶ所(東、一本杉、北、松泰寺、王塚、きりう)を管理。町内会設置児童遊園地の賠償責任保険加入(身体1人1億円、1事故10億円)
	対象者数	92,861 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	市が児童福祉法に基づく児童遊園地6ヶ所(東・一本杉・北・松泰寺・王塚・きりう)の設置及び管理 町内会が管理する児童遊園地に対する賠償責任保険の加入促進(147カ所)							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	児童福祉法に基づく児童遊園地設置箇所数	箇所	目標値	6	6	6	6
				実績値	6	6		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	活動指標	児童遊園地賠償責任保険加入件数	件	目標値	146	147	147	143
				実績値	146	147		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	成果指標	児童遊園地賠償責任保険加入率	%	目標値	100	100	100	100
				実績値	100	100		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
				目標値				
				実績値				
			算出根拠等	達成率(%)				
			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足	新たに児童遊園地を新設する町内会もあるが、遊具の老朽化や少子化による利用児童の減少により、児童遊園地を廃止する町内会も増え始めているため児童遊園地賠償責任保険加入件数の加入の減少傾向にある。							

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	児童福祉法に基づき市が直接管理している児童遊園地と、町内会が管理する児童遊園地があり、管理者に違いはあるが児童遊園地の設立の経緯について確認しながら、今後の管理方針を検討していく必要がある。
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	児童遊園地の利用状況調査の実施と児童遊園地の設立(土地借上料を含む)の経緯について調査し、管理方針を検討する。																	
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">児童遊園地の利用状況調査や児童遊園地設立(土地借上料を含む)経緯の検討結果を踏まえて、管理方針を決定する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">児童遊園地の管理のあり方については、地元町内会への移譲も含め検討する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善	児童遊園地の利用状況調査や児童遊園地設立(土地借上料を含む)経緯の検討結果を踏まえて、管理方針を決定する。		拡大		縮小	二次評価	○ 維持・改善	児童遊園地の管理のあり方については、地元町内会への移譲も含め検討する必要がある。		拡大		縮小		廃止検討	
	担当課評価	○ 維持・改善	児童遊園地の利用状況調査や児童遊園地設立(土地借上料を含む)経緯の検討結果を踏まえて、管理方針を決定する。															
	拡大																	
	縮小																	
二次評価	○ 維持・改善	児童遊園地の管理のあり方については、地元町内会への移譲も含め検討する必要がある。																
	拡大																	
	縮小																	
	廃止検討																	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	4,714	4,807	5,050	5,223
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	50	52	54	56
	受益者	市民	(B)	93,822	93,312	92,861

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	児童福祉法に基づく児童遊園地6ヶ所(東、一本杉、北、松泰寺、王塚、きりう)の管理 町内会設置児童遊園地の賠償責任保険加入(身体1人1億円、1事故10億円)	要求のポイント	児童福祉法に基づく児童遊園地6ヶ所(東、一本杉、北、松泰寺、王塚、きりう)の管理に関する経費 町内会設置児童遊園地の賠償責任保険料	事業実施の課題	児童遊園地の利用状況調査や児童遊園地設立(土地借上料を含む)経緯の検討結果を踏まえて、管理方針を決定する。
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,050	5,223	173	5,150	5,150	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
一般財源		5,050	5,223	173	5,150	5,150		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32115	児童福祉施設整備事業補助金	予 算	会計	1 一般会計	総 合 計 画	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画／高山市第7次保育園整備5か年計画	市 長 公 約	7 将来を担う子どもを守り育てます ・働く若い家族を支援するため、待機児童ゼロの保育整備をします。 ・保育の地域格差をなくすため、受け入れ年齢等の見直しを行い、13時間保育や夜間保育の実施を検討します。
	番 枝			款	3 民生費		分野	2 児童福祉		実施計画事業		
担当課	福祉部 子育て支援課		内 線	項	2 児童福祉費		基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	17,746 千円		
			2947	目	1 児童福祉総務費		施策	3 保育環境の整備				

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	私立保育園児及び保護者	どうしたいのか (意図)	社会福祉法人が行う施設整備等への助成を行うことで、県とともに保育を委託する行政の責任を担う。私立保育園の老朽化等に伴う建て替えや改修を促進し、安全で良質な保育環境維持推進を行う。	概要	事業の実手法(手段)	社会福祉法人の施設整備費の義務負担金(債務負担による補助) 私立保育園の施設改修、新築に対する助成(費用負担割合1/2県、1/4市、1/4法人)
	対象者数	19,800 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	社会福祉法人の施設整備費の義務負担金(債務負担による補助)							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	私立保育園大規模改修件数(債務負担含む)	件	目標値	2	1	1	2
				実績値	2	1		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	活動指標	私立保育園延べ保育児童数	人	目標値	19,200	19,300	19,800	20,700
				実績値	18,938	19,028		
				算出根拠等	達成率(%)	99	99	
	成果面		%	目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
	成果面		%	目標値				
				実績値				
算出根拠等				達成率(%)				
成果面			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足	建築後相当年数経過した保育園が多く、今後、計画的な改修や建て替えが必要となる。		目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	建築後相当年数経過した保育園が多く、今後は計画的な改修や建て替えが必要であるが、中長期的視点にたった市全体での保育園利用見込み等を考察し、公立私立を併せた保育園の整備計画が必要である。
-----------------	--

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	市民の保育ニーズを確認しながら、保育園運営法人とも綿密に連携し計画的な施設整備に努める。						
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> <td>高山市第七次保育園整備5か年計画では、低年齢児の受入を推進するための改修を推進することとしており、今後さらに低年齢児が増加した場合、私立保育園でも未満児用にトイレや沐浴、調乳設備を新設する必要がある。高山地域の就学前児童数も中心部のドーナツ化が進み、地域によって定員より希望者の多い保育園と少ない保育園に分類されつつあるため、児童の多い地域の保育園に対して、老朽施設の改修等を積極的に促し、必要に応じて定員増につながる支援をする必要がある。</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> <td>施設の整備については、市として助成する必要性について十分検討したうえで計画的に実施する必要がある。</td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	高山市第七次保育園整備5か年計画では、低年齢児の受入を推進するための改修を推進することとしており、今後さらに低年齢児が増加した場合、私立保育園でも未満児用にトイレや沐浴、調乳設備を新設する必要がある。高山地域の就学前児童数も中心部のドーナツ化が進み、地域によって定員より希望者の多い保育園と少ない保育園に分類されつつあるため、児童の多い地域の保育園に対して、老朽施設の改修等を積極的に促し、必要に応じて定員増につながる支援をする必要がある。	二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	施設の整備については、市として助成する必要性について十分検討したうえで計画的に実施する必要がある。
	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	高山市第七次保育園整備5か年計画では、低年齢児の受入を推進するための改修を推進することとしており、今後さらに低年齢児が増加した場合、私立保育園でも未満児用にトイレや沐浴、調乳設備を新設する必要がある。高山地域の就学前児童数も中心部のドーナツ化が進み、地域によって定員より希望者の多い保育園と少ない保育園に分類されつつあるため、児童の多い地域の保育園に対して、老朽施設の改修等を積極的に促し、必要に応じて定員増につながる支援をする必要がある。				
二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	施設の整備については、市として助成する必要性について十分検討したうえで計画的に実施する必要がある。					

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 11,464	2,854	2,801	21,300
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 605	150	141	1,029
	受益者	私立保育園児童 (B) 18,938	19,028	19,800	20,700

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	私立保育園改修工事に対する助成 高山社会事業協会への債務負担	要求のポイント	私立保育所への補助金の増	事業実施の課題	高山市第七次保育園整備5か年計画では、低年齢児の受入を推進するための改修を推進することとしており、今後さらに低年齢児が増加した場合、私立保育園でも未満児用トイレや沐浴、調乳設備を新設する必要がある。高山地域の就学前児童数も中心部のドーナツ化が進み、地域によって定員より希望者の多い保育園と少ない保育園に分類されつつあるため、児童の多い地域の保育園に対して、老朽施設の改修等を積極的に促し、定員増につながる支援をする必要がある。
------	-----------------------------------	---------	--------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,801	21,300	18,499	14,747	14,747	・積算内容を精査 ・私立保育所の施設整備は必要性の高いものを計画的に実施	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金		11,150	11,150	8,000	8,000		
	その他			0				
	一般財源	2,801	10,150	7,349	6,747	6,747		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32128	病児保育事業	内線	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約	7 将来を担う子どもを守り育てます ・事業所内保育所の設置・運営に対する助成や病児保育を行うなど子育てと就労が両立できる労働環境の整備をすすめます。
番枝				款	3	民生費		分野	2	児童福祉	実施計画事業	病児保育事業		
担当課	福祉部 子育て支援課	2946	項	2	児童福祉費	基本施策	1	次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	11,000	千円			
			目	1	児童福祉総務費	施策	2	子育て環境の整備						

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	生後6ヶ月から3年生までの児童	どうしたいのか(意図)	病気等の児童を一時的に保育することにより、安心して働く環境の整備を図る。	概要	事業の実手法(手段)	病気が回復しておらず、かつ当面の症状に急変が認められない児童を、専用の施設で一時保育する。利用料金2,000円/日(5時間以内は1,000円)
	対象者数	7,280 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	病児保育事業を医療機関に委託し、病気等の児童を一時的に保育することにより、安心して働く環境を提供した。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	開設箇所数	箇所	目標値	1	1	1	1
				実績値	1	1		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	活動指標	利用者数	人	目標値	800	800	900	800
				実績値	721	921		
				算出根拠等	達成率(%)	90	115	
	成果面			目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
	成果面			目標値				
				実績値				
算出根拠等				達成率(%)				
成果面			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足	病気の児童を一時的に保育する専門性の高い事業であり、業務を行うためには専用の施設や看護師をはじめとする専門スタッフが必要である。		目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	現在の病児保育室の規模では、これ以上の利用者増加は厳しい状況である。しかし、今後は高山市民以外の広域連携による利用についても、検討していく必要がある。
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	今年度の利用者見込みと、他市での病児保育事業の取り組み状況を確認する。	
次年度の実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	平成24年度の利用者見込みの把握と、他市での病児保育事業の取り組み状況結果に基づく、広域連携の可能性を検討する。
	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・本事業の趣旨を理解いただいた上で市民に利用してもらえるよう引き続き周知を図りながらサービス提供を行っていく必要がある。

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	11,374	13,742	13,590	13,694
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	15,775	14,921	15,100	15,216
	受益者 利用者数	(B)	721	921	900	900

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	病児保育事業を医療機関に委託し開設する(病児保育室プティそれいゆ) 利用料金2,000円/日(5時間以内は1,000円)	要求のポイント	病児保育事業の医療機関への委託料	事業実施の課題	平成24年度には利用者が900人を超えたが、現在の施設規模と今後の利用者数の状況などを踏まえながら、サービスの提供を行っていく必要がある。
------	---	---------	------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		13,590	13,694	104	13,590	13,590	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	8,100	8,106	6	8,100	8,100		
	その他	1,440	1,534	94	1,440	1,440		
	一般財源	4,050	4,054	4	4,050	4,050		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32136	遺児激励金	内線	会計	1 一般会計	総合計画	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約	7 将来を担う子どもを守り育てます
番枝				款	3 民生費		分野	2 児童福祉	実施計画事業	母子・父子福祉推進事業		
担当課	福祉部 子育て支援課		2911	項	2 児童福祉費	基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	7,000 千円			
				目	1 児童福祉総務費	施策	1 子育て不安の解消					

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	親等を失った遺児及びその養育者	どうしたいのか(意図)	親等を失った遺児に対して、激励金・就職支度金を支給し、遺児の健やかな成長を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	病気や事故等により親等を失った遺児に対して、毎年激励金を支給(20千円/幼児・小 35千円/中 50千円/高) 交通火災災害遺児(200千円/人) 遺児が中学校や高校を卒業して就職する場合には、就職支度金を支給(100千円/人)
	対象者数	172 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	病気や事故等により親等を失った遺児に対して、激励金を支給。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	遺児激励金支給件数	件	目標値	176	176	150	150
				実績値	175	161		
		算出根拠等		達成率(%)	99	91		
	活動指標	交通火災災害遺児激励金支給件数	件	目標値	5	7	5	5
				実績値	0	0		
		算出根拠等		達成率(%)	0	0		
	活動指標	就職支度金支給件数	件	目標値	9	9	9	9
				実績値	6	5		
		算出根拠等		達成率(%)	67	56		
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
			実績値					
	算出根拠等		達成率(%)					
補足								

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	遺児の健やかな成長と社会へ出ていくことを支援する事業であり、現状を維持する必要がある。
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	遺児の健やかな成長を図るため、遺児激励金支給は現状を維持する。																	
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">遺児の健やかな成長と社会へ出ていくことを支援する事業であり、現状を維持する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善	遺児の健やかな成長と社会へ出ていくことを支援する事業であり、現状を維持する。		拡大		縮小	二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)		拡大		縮小		廃止検討	
	担当課評価	○ 維持・改善	遺児の健やかな成長と社会へ出ていくことを支援する事業であり、現状を維持する。															
	拡大																	
	縮小																	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)																
	拡大																	
	縮小																	
	廃止検討																	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円) (A)	6,605	6,075	7,000	7,000
	受益者1件当たり(円) (A/B)	37,743	37,733	40,698	42,424
	受益者 激励金受給者 (B)	175	161	172	165

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺児激励金の支給</li> <li>交通・火災災害遺児激励金の支給</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺児激励金(幼児・小学生 20千円、中学生 35千円、高校生 50千円・就職支度金 100千円)</li> <li>交通・火災災害遺児激励金(200千円)</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>該当児童の把握のために、民生児童委員への依頼や児童扶養手当、児童手当等の各部門との連携が必要である。</li> </ul>
------	---	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		7,000	7,000	0	7,000	7,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	1,000		△ 1,000	1,000	1,000		
	一般財源	6,000	7,000	1,000	6,000	6,000		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32142 番枝	児童遊園地整備費補助金	内線	2946	予算	会計 1 一般会計 3 民生費 2 児童福祉費 1 児童福祉総務費	総合計画	政策 2 「やさしさ」のあるまちをめざして 分野 2 児童福祉 基本施策 1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる 施策 2 子育て環境の整備	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約	7 将来を担う子どもを守り育てます
担当課	福祉部 子育て支援課											
									実施計画事業	児童遊園地整備補助事業		
									H25実施計画額	4,000 千円		

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	地域の児童及び地域住民	どうしたいのか(意図)	地域における児童の健全な遊び場の確保	概要	事業の実手法(手段)	地域における児童の健全な遊び場を確保するために、町内会が管理する児童遊園地の整備に対して補助を行う 補助率4分の3 ※補助限度額75万円
	対象者数	92,861 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	町内会が管理する児童遊園地の遊具の新設等に係る補助申請が減少している。遊具等の塗装についての要望があったが補助対象外のため申請して頂けなかった。こうした遊具の塗装についても補助対象として、より適切な遊具の維持管理を促進するよう、補助金交付要綱の改正を行った。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	補助金申請に向けた相談(電話相談も含む)	回	目標値	10	10	10	10
				実績値	10	10		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	成果指標	整備箇所数	箇所	目標値	12	13	13	13
				実績値	6	2		
				算出根拠等	達成率(%)	50	15	
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績値				
算出根拠等				達成率(%)				
			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足	新たに児童遊園地を新設する町内会もあるが、遊具の老朽化や少子化による利用児童の減少により、児童遊園地を廃止する町内会もあるため、児童遊園地の遊具の新設等に係る補助申請は減少している。							

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	遊具の新設に対する補助だけでなく、塗装による修繕なども補助対象として取り扱えるよう基準を明確にし、健全な遊び場の確保のための補助金制度が町内会に有効に活用されるように努める。
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	児童遊園地整備費補助金交付要綱の一部改正により、遊具の塗装も交付対象に追加されたことを積極的にPRし、活用を推進する。						
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> <td>健全な遊び場を確保するため、町内会が管理する児童遊園地の整備費補助の周知を図る。</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> <td>・平成24年度に新たに補助対象となった遊具の塗装による修繕に係る申請状況を踏まえながら補助制度の改正の効果を検証する必要がある。</td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	健全な遊び場を確保するため、町内会が管理する児童遊園地の整備費補助の周知を図る。	二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・平成24年度に新たに補助対象となった遊具の塗装による修繕に係る申請状況を踏まえながら補助制度の改正の効果を検証する必要がある。
	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	健全な遊び場を確保するため、町内会が管理する児童遊園地の整備費補助の周知を図る。				
二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・平成24年度に新たに補助対象となった遊具の塗装による修繕に係る申請状況を踏まえながら補助制度の改正の効果を検証する必要がある。					

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 1,608	660	4,000	4,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 17	7	43	43
	受益者: 市民	(B) 93,822	93,312	92,861	92,861

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	町内会が管理する児童遊園地の整備に対する助成 補助率4分の3 ※補助限度額75万円	要求のポイント	事業実施の課題	児童遊園地整備費補助金交付要綱の一部改正により、遊具の修繕(部品交換や塗装)も交付対象に追加したことで、平成24年度の補助金交付申請件数は増加したが、今後もより健全な遊び場を確保するため、町内会が管理する児童遊園地の整備費補助のPRを行う必要がある。
------	--	---------	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		4,000	4,000	0	4,000	4,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	4,000	4,000	0	4,000	4,000		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32148	児童福祉関係事務費	内線	会計	1 一般会計	総合計画	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約	7 将来を担う子どもを守り育てます
番枝				款	3 民生費		分野	2 児童福祉	実施計画事業			
担当課	福祉部 子育て支援課		2946	項	2 児童福祉費	基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額		千円		
				目	1 児童福祉総務費	施策	1 子育て不安の解消					

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	市民	どうしたいのか(意図)	児童福祉関係事務費 (児童福祉法施行事務等一般行政運営や保育園整備の推進を図る。)	概要	事業の実施手法(手段)	児童福祉関係事務費
	対象者数	92,861 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	児童福祉事業に関する旅費、事務費						
成果面	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
算出根拠等		達成率(%)					
補足							

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	人件費の事務費
-----------------	---------

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	人件費等事務費のため課題なし					
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> <td rowspan="2">・次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくるため、引き続き適正に事務を行う。</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくるため、引き続き適正に事務を行う。	二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくるため、引き続き適正に事務を行う。				
二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討					

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円) (A)	304	456	450	499
	受益者1件当たり(円) (A/B)	3	5	5	5
	受益者: 市民 (B)	93,822	93,312	92,861	92,861

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	児童福祉関係事務費	要求のポイント	事業実施の課題
------	-----------	---------	---------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	450	499	49	450	450	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	450	499	49	450	450		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32150 番枝	母子福祉センター運営委託費	内線	2911	会計	1 一般会計	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約 7 将来を担う子どもを守り育てます
担当課	福祉部 子育て支援課			款	3 民生費	分野	2 児童福祉	実施計画事業	母子福祉センター運営事業		
				項	2 児童福祉費	基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	6,600 千円		
				目	1 児童福祉総務費	施策	2 子育て環境の整備				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	ひとり親家庭	どうしたいのか(意図)	ひとり親家庭における諸問題の相談、指導を行うとともに、生活の支援と福祉の増進を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	母子福祉センターの指定管理委託
	対象者数	850 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	母子福祉センターの運営							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	相談件数	件	目標値	65	50	50	50
				実績値	36	39		
				算出根拠等	達成率(%)	55	78	
	活動指標	行事開催回数	回	目標値	16	15	15	15
				実績値	16	15		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	成果指標	行事参加者数	人	目標値	415	440	440	440
				実績値	400	352		
				算出根拠等	達成率(%)	96	80	
				目標値				
				実績値				
			算出根拠等	達成率(%)				
			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	母子、父子を含めたひとり親家庭への利用の一層の周知が必要である。
-----------------	----------------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	季節に応じた事業行事を計画実施し利用者、行事参加者の増加を図る。							
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">ひとり家庭の福祉の一層の増進を図り事業を行っていく。事業、行事の周知に努め参加者の増加に努める。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善	ひとり家庭の福祉の一層の増進を図り事業を行っていく。事業、行事の周知に努め参加者の増加に努める。		拡大		縮小
	担当課評価	○ 維持・改善	ひとり家庭の福祉の一層の増進を図り事業を行っていく。事業、行事の周知に努め参加者の増加に努める。					
	拡大							
	縮小							
	<table border="1"> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> </table>	二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)		拡大		縮小
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)						
	拡大							
	縮小							

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 6,600	6,600	6,600	6,600
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 16,500	18,750	15,000	15,000
	受益者	行事参加者 (B) 400	352	440	440

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	母子福祉センターの運営	要求のポイント	母子福祉センター運営の指定管理委託料	事業実施の課題	母子父子家庭の増加(H17 449世帯・H22 513世帯 国調) 母子福祉センター活動・行事への参加促進を図る必要がある。
------	-------------	---------	--------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		6,600	6,600	0	6,600	6,600	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	323	407	84				
	一般財源	6,277	6,193	△ 84	6,600	6,600		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32152	母子保護費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画／高山市人権施策推進指針／第3次高山市男女協働参画計画	市長公約	7 将来を担う子どもを守り育てます
番枝			款	3	民生費		分野	1	地域福祉	実施計画事業	母子保護事業		
担当課	福祉部 子育て支援課		内線	2	児童福祉費		基本施策	1	地域における支えあいの仕組みをつくる	H25実施計画額	32,000 千円		
			目	1	児童福祉総務費		施策	1	支えあう心の育成				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	母子家庭の児童及び母	どうしたいのか(意図)	生活基盤の弱い母子の保護と自立支援のため、母子生活支援施設への入所を委託する。	概要	事業の実手法(手段)	母子生活支援施設(清和寮及び市外施設)の入所措置
	対象者数	9 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	母子生活支援施設への入所措置費支出。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	入所措置世帯数	世帯	目標値	11	11	9	10
				実績値	7	5		
				算出根拠等	達成率(%)	64	45	
	成果指標	退所世帯数	世帯	目標値	5	3	3	3
				実績値	5	1		
				算出根拠等	達成率(%)	100	33	
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
補足								

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	離婚等の増加による母子家庭の増加及び景気の低迷により所得水準も低下しており、利用者の増加が見込まれている。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	委託事業者においては、生活基盤の弱い母子家庭入所者が自立しての退所ができるよう自立の支援を行う。					
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> <td rowspan="2">委託事業者において、生活基盤の弱い母子家庭については自立しての退所ができるよう自立支援を行う。</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	委託事業者において、生活基盤の弱い母子家庭については自立しての退所ができるよう自立支援を行う。	二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	委託事業者において、生活基盤の弱い母子家庭については自立しての退所ができるよう自立支援を行う。			
二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討					
	(担当課評価に同じ)					

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	20,452	16,424	28,000	34,346
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,921,714	3,284,800	3,111,111	3,434,600
	受益者	施設入所者	(B)	7	5	9

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	生活基盤の弱い母子家庭の母親と児童に対する生活の安定と自立の支援	要求のポイント	母子生活支援施設の入所措置委託料	事業実施の課題	母子家庭の増加、加えて景気の低迷により所得水準も低下しており施設入所者の増加が見込まれている。家庭での養育的、経済的など様々な要因があり、それらに対応する支援が必要となっている。
------	----------------------------------	---------	------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		28,000	34,346	6,346	34,300	34,300	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	13,967	17,159	3,192	17,117	17,117		
	県支出金	6,983	8,579	1,596	8,558	8,558		
	その他	66	26	△ 40	66	66		
	一般財源	6,984	8,582	1,598	8,559	8,559		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32154 番枝	子育て短期支援事業委託費	内線	2911	会計	1 一般会計	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約 7 将来を担う子どもを守り育てます
担当課	福祉部 子育て支援課			款	3 民生費	分野	2 児童福祉	実施計画事業	子育て短期支援事業		
				項	2 児童福祉費	基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	600 千円		
				目	1 児童福祉総務費	施策	1 子育て不安の解消				

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	一時的に養育が困難になった児童及び緊急一時的に保護が必要な母子	どうしたいのか(意図)	保護者の疾病等で、一時的に児童の養育が困難になった場合の保護及び母子の緊急的な一時保護を児童養護施設等へ委託する。	概要	事業の実施手法(手段)	児童養護施設への委託 母子生活支援施設への委託	短期入所生活援助(ショートステイ) 夜間養護等(トワイライトステイ) 母子の緊急的な一時保護
	対象者数	10 人						

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	一時的に養育が困難になった場合の児童の保護を委託する。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	短期入所生活援助等利用件数	件	目標値	91	91	96	96
				実績値	5	44		
				達成率(%)	5	48		
	算出根拠等							
				目標値				
				実績値				
				達成率(%)				
	算出根拠等							
				目標値				
				実績値				
				達成率(%)				
	算出根拠等							
				目標値				
				実績値				
				達成率(%)				
算出根拠等								
			目標値					
			実績値					
			達成率(%)					
算出根拠等								
補足								

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	該当者は増加傾向にあり、緊急一時的に児童の養護のできない家庭にとっては必要であり継続していくべきものである。
-----------------	--

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	増加する利用者に対し、真に必要な状況にあるか等関係機関と協議の機会を持つ。保育園の一時保育事業もあわせ検討し、利用者の状況に応じて対応していく。					
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td> <input type="radio"/> 維持・改善  <input type="radio"/> 拡大  <input type="radio"/> 縮小  <input type="radio"/> 廃止検討                 </td> <td rowspan="2">保育園の一時保育事業もあわせ検討し、利用者の状況に応じて対応していく。</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td> <input type="radio"/> 維持・改善  <input type="radio"/> 拡大  <input type="radio"/> 縮小  <input type="radio"/> 廃止検討                 </td> </tr> </table>	担当課評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	保育園の一時保育事業もあわせ検討し、利用者の状況に応じて対応していく。	二次評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	担当課評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	保育園の一時保育事業もあわせ検討し、利用者の状況に応じて対応していく。			
二次評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討					
	(担当課評価に同じ)					

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 91	165	560	498
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 18,200	3,750	5,833	4,980
	受益者	サービス利用者 (B) 5	44	96	100

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	・保護者が一時的に養育が困難になった場合の児童の保護	要求のポイント	・平日夜間及び日曜祝祭日(トワイライトステイ)、平日及び宿泊(ショートステイ)利用への事業委託	事業実施の課題	・核家族化や母子家庭の増加等の社会情勢の変化により利用者が増加し、受入れ事業所との調整が必要となっている。
------	----------------------------	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	560	498	△ 62	560	560	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	279	248	△ 31	279	279		
	県支出金			0				
	その他	1	1	0	1	1		
	一般財源	280	249	△ 31	280	280		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32156 番枝	障がい児通園事業費	内線	2911	会計	1 一般会計	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画／高山市障がい者福祉計画	市長公約 7 将来を担う子どもを守り育てます
担当課	福祉部 子育て支援課			款	3 民生費	分野	2 児童福祉	実施計画事業	障がい児通園施設運営事業		
				項	2 児童福祉費	基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	68,500 千円		
				目	1 児童福祉総務費	施策	2 子育て環境の整備				

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	知的障がいや発達障がいなどを持つ児童	どうしたいのか(意図)	障がい児の相談支援や療育訓練を行うことで、児童の社会生活の適応を図る。	概要	事業の実手法(手段)	知的障がいや発達障がいなどを持つ児童に対する日常生活訓練や療育相談などを実施する。
	対象者数	8,423 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>知的障がいや発達障がいなど障がいを持つ児童に対する日常生活訓練や療育相談を行う。</li> <li>地域療育システム支援事業</li> </ul>							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
		直営児童発達支援延利用人数	人	目標値 実績値	1,650 1,747	1,968 2,629	3,000 /	3,500 /
	算出根拠等			達成率(%)	106	134	/	/
	活動指標	あゆみ学園延利用人数	人	目標値 実績値	3,463 3,309	4,416 4,168	4,500 /	4,300 /
	算出根拠等			達成率(%)	96	94	/	/
	活動指標	地域療育スタッフ支援件数	回	目標値 実績値	5 5	5 5	5 /	3 /
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	/	/
	活動指標	児童発達支援関係者会議	回	目標値 実績値	/	5 3	10 /	10 /
	算出根拠等			達成率(%)	/	60	/	/
				目標値 実績値	/	/	/	/
	算出根拠等			達成率(%)	/	/	/	/
補足				目標値 実績値	/	/	/	/
	算出根拠等			達成率(%)	/	/	/	/

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	増加する発達障がい児の療育体制の整備と地域療育システムの構築を図る。
-----------------	------------------------------------

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	児童発達支援事業所間の連絡調整会議を実施し、情報交換と連絡調整を図り対応する。新規事業所の設立に向けて検討する。																	
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">途切れのない支援を図るための療育体制の整備と地域療育システムの構築。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">児童発達支援事業所の今後の運営主体や運営手法等について見直す検討が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善	途切れのない支援を図るための療育体制の整備と地域療育システムの構築。		拡大		縮小	二次評価	○ 維持・改善	児童発達支援事業所の今後の運営主体や運営手法等について見直す検討が必要である。		拡大		縮小		廃止検討	
担当課評価	○ 維持・改善	途切れのない支援を図るための療育体制の整備と地域療育システムの構築。																
	拡大																	
	縮小																	
二次評価	○ 維持・改善	児童発達支援事業所の今後の運営主体や運営手法等について見直す検討が必要である。																
	拡大																	
	縮小																	
	廃止検討																	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	39,115	53,353	68,583	98,079	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	7,736	7,849	9,144	10,418	
	受益者	サービス利用者	(B)	5,056	6,797	7,500	9,414

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい児通園所支援事業を行うことにより(直営いきいき広場、指定管理あゆみ学園)障がい児への療育訓練や相談事業を行い、児童の日常生活への適応を図り保護者への支援を行う。</li> <li>自立支援給付等利用者負担金助成</li> <li>早期集団療育の実施(すきっぷ広場)</li> <li>地域療育にかかる研修の実施</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立支援給付等利用者負担助成</li> <li>早期発見、早期療育への対応のための早期集団療育事業の実施</li> <li>療育の資質向上のための研修</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障がいや発達に気になる児童の増加に対応するための効率的な運営を図っていく必要がある。</li> <li>早期発見・早期療育のために保健・福祉・療育部門の連携を図っていく必要がある。</li> </ul>
------	--	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	68,583	98,079	29,496	94,730	94,730	積算内容を精査	財務部査定のとおり
	国庫支出金	26,715	39,562	12,847	38,400	38,400		
	県支出金	13,357	19,781	6,424	19,200	19,200		
	その他	20,352	22,298	1,946	31,043	31,043		
	一般財源	8,159	16,438	8,279	6,087	6,087		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32161 番枝	子どもにやさしいまちづくり推進事業費	内線	2946	会計	1 一般会計	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約 7 将来を担う子どもを守り育てます
担当課		福祉部 子育て支援課			款	3 民生費	分野	2 児童福祉	実施計画事業	子どもにやさしいまちづくり推進事業	
					項	2 児童福祉費	基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	4,000 千円	
					目	1 児童福祉総務費	施策	1 子育て不安の解消			

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	市民	どうしたいのか(意図)	子どもにやさしいまちづくり計画(後期)を実施し、子どもを生み育てやすい環境作りの推進	概要	事業の実手法(手段)	次世代育成支援行動計画に基づく関連事業の推進 子どもにやさしいまちづくり推進委員会や子育て支援スタッフ研修会の開催 子育て支援団体に対するリフレッシュ保育等事業費補助 子育てに関する冊子作成による経費
	対象者数	92,861 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	子どもにやさしいまちづくり推進委員会の開催 子育て支援スタッフ養成のための研修会の開催 子育て支援団体に対するリフレッシュ保育等事業費補助							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	子どもにやさしいまちづくり推進委員会開催	回	目標値	1	1	1	2
				実績値	1	1		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	活動指標	子育て支援スタッフ研修開催回数	回	目標値	10	10	10	10
				実績値	10	10		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	活動指標	子育て便利帳作成配付	冊	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000
				実績値	3,000	3,000		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	活動指標	リフレッシュ保育等事業費補助団体数	団体	目標値	18	16	13	13
				実績値	17	18		
				算出根拠等	達成率(%)	94	113	
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
補足			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	市民ニーズに対応するため、子どもにやさしいまちづくり推進委員会等における意見も次年度事業につなげていく仕組みを検討していく必要がある。
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	子どもにやさしいまちづくり推進委員会等における意見が次年度事業につなげていく仕組みを検討していく。平成27年度の計画策定に向けた調査を実施していく。					
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> <td rowspan="2">子どもにやさしいまちづくり計画の後期計画(平成26年度まで)の分析と、次期計画の素案づくりの実施。</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	子どもにやさしいまちづくり計画の後期計画(平成26年度まで)の分析と、次期計画の素案づくりの実施。	二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	子どもにやさしいまちづくり計画の後期計画(平成26年度まで)の分析と、次期計画の素案づくりの実施。			
二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討					
	(担当課評価に同じ)					

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 4,912	4,363	3,997	4,447
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 52	47	43	48
	受益者 人口(4月1日現在)	(B) 93,822	93,312	92,861	92,861

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	次世代育成支援行動計画に基づく関連事業の推進 子どもにやさしいまちづくり推進委員会(後期計画及び次期計画に向けた検討会議)の開催 子育て支援スタッフ研修会の開催 子育て支援団体に対する助成 子育てに関する冊子作成	要求のポイント	次世代育成支援行動計画に基づく関連事業の推進 子どもにやさしいまちづくり推進委員会(後期計画及び次期計画に向けた検討会議)に関する経費	事業実施の課題	平成22年度から次世代育成支援行動計画(後期計画)に基づき関連事業を推進してきたが、平成26年度が最終年度であることを踏まえた中で、新たな事業計画の策定に向けた各種事業の成果分析を行うための準備を進めていく。
------	--	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		3,997	4,447	450	4,197	4,197	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	3,055		△ 3,055				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	942	4,447	3,505	4,197	4,197		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32175	障がい児居宅支援事業費	内線	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画／高山市障がい者福祉計画	市長公約	7	将来を担う子どもを守り育てます
番枝				款	3	民生費		分野	2	児童福祉		実施計画事業			
担当課		福祉部 子育て支援課	2911	項	2	児童福祉費		基本施策	1	次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	3,600	千円		
				目	1	児童福祉総務費		施策	1	子育て不安の解消					

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	身体障害者自立支援法の対象となる児童	どうしたいのか(意図)	障害者自立支援法による福祉サービスの給付を行うことにより、障がい児を養育する家庭への支援を行う。	概要	事業の実手法(手段)	障害者自立支援法による福祉サービスの給付と利用者負担金助成 対象事業:短期入所、日中一時支援、行動援護、計画相談支援、移動支援
	対象者数	1,675 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	障害者自立支援法による福祉サービスの給付決定及び給付と利用者負担助成 短期入所、日中一時支援、行動援護、移動支援の各事業で実施							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	短期入所利用延べ人数	人	目標値	50	36	60	84
		実績値	40	26				
		算出根拠等	達成率(%)	80	72			
	活動指標	日中一時支援利用延べ人数	人	目標値	1,500	1,608	1,560	1,620
		実績値	1,473	1,653				
		算出根拠等	達成率(%)	98	103			
	活動指標	行動援護利用延べ人数	人	目標値	10	4	7	0
		実績値	1	1				
		算出根拠等	達成率(%)	10	25			
	活動指標	移動支援利用延べ人数	人	目標値	1	1	0	10
		実績値	0	1				
		算出根拠等	達成率(%)	0	100			
			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足								

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	増加する利用者(障がい児を養育する家庭)への助成を行うことにより、障がい児の自立を支える。
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	日中一時支援、短期入所、行動援護、移動支援の各事業を実施することにより障がい児を養育する家庭へ支援を行っていく。					
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> <td rowspan="2">福祉サービス事業所の受入れ体制増を含めた検討を行っていく。</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	福祉サービス事業所の受入れ体制増を含めた検討を行っていく。	二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	福祉サービス事業所の受入れ体制増を含めた検討を行っていく。			
二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討					
	(担当課評価に同じ)					

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,729	3,768	5,300	6,864
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,463	2,242	3,258	3,755
	受益者	サービス利用者	(B)	1,514	1,681	1,627

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	・障害者自立支援法による福祉サービスに対する給付費の支給と利用者負担助成	要求のポイント	事業実施の課題	・日中一時支援事業や短期入所事業については利用が増加しており、受入れ事業所の調整が必要となる。
------	--------------------------------------	---------	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	5,300	6,864	1,564	5,300	5,300	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	2,450	3,166	716	2,450	2,450		
	県支出金	1,225	1,583	358	1,225	1,225		
	その他			0				
	一般財源	1,625	2,115	490	1,625	1,625		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32180	つどいの広場事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約 7 将来を担う子どもを守り育てます
番枝				款	3	民生費		分野	2	児童福祉	実施計画事業	つどいの広場運営事業、児童施設維持修繕事業	
担当課	福祉部 子育て支援課	内線	2946	項	2	児童福祉費	基本施策	1	次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	8,170 千円		
				目	1	児童福祉総務費	施策	2	子育て環境の整備				

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	子育て中の親子	どうしたいのか(意図)	地域で子育てに関する相談が気軽にできる場所を整備することにより、悩み事や心配事の早期解消を図る。	概要	事業の実手法(手段)	空き店舗や支所を活用し、子育て中の親子が気軽に集える場所を設定し、気軽に相談等できる子育て支援の場を提供する。
	対象者数	3,159 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	一之宮地域のつどいの広場を常設できるよう移転した。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	つどいの広場箇所数	箇所	目標値	11	11	11	11
				実績値	11	11		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	活動指標	コーディネーター登録人数	人	目標値	40	42	43	43
				実績値	42	43		
				算出根拠等	達成率(%)	105	102	
	成果指標	つどいの広場参加者数(延べ)	人	目標値	30,000	30,000	30,000	30,000
				実績値	34,911	38,655		
				算出根拠等	達成率(%)	116	129	
	活動指標	コーディネーター出役回数(延べ)	回	目標値	1,040	1,040	1,040	1,040
				実績値	973	1,018		
算出根拠等				達成率(%)	94	98		
			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足								

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	高山市内11ヶ所のつどいの広場について施設修繕が完了したため、今後はつどいの広場の利用者ニーズについて確認し、問題点について検討していく。
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	高山市内11ヶ所のつどいの広場について施設修繕が完了したため、つどいの充実を図るため利用者のニーズ調査を行う。																	
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">つどいの広場利用者ニーズを踏まえた事業実施を検討していく。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善	つどいの広場利用者ニーズを踏まえた事業実施を検討していく。		拡大		縮小	二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)		拡大		縮小		廃止検討	
	担当課評価	○ 維持・改善	つどいの広場利用者ニーズを踏まえた事業実施を検討していく。															
	拡大																	
	縮小																	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)																
	拡大																	
	縮小																	
	廃止検討																	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	8,481	8,566	8,170	10,314
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	243	222	233	344
	受益者	つどいの広場利用者	(B)	34,911	38,655	35,000

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	子育てコーディネーター配置 つどいの広場開設 11ヶ所 高山地域 1ヶ所 かんかんこん(高山市商店街振興組合連合会へ運営委託) 支所地域 10ヶ所	要求のポイント	つどいの広場の充実	事業実施の課題	利用者数は増加傾向にあり、今後も育児不安の解消、仲間づくりのため利用の推進を図るとともに、乳幼児親子のみならず、地域の高齢者なども巻き込んだ多世代交流の場となる取組みが必要である。
------	--	---------	-----------	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		8,170	10,314	2,144	8,170	8,170	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	3,461	4,238	777	6,601	6,601		
	県支出金			0				
	その他			0				
一般財源		4,709	6,076	1,367	1,569	1,569		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32181 番枝	ブックスタート事業費	会計	1 一般会計	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約 7 将来を担う子どもを守り育てます	
担当課	福祉部 子育て支援課	内線	2946	款	3 民生費	分野	2 児童福祉	実施計画事業		ブックスタート事業
				項	2 児童福祉費	基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額		2,000 千円
				目	1 児童福祉総務費	施策	1 子育て環境の整備			

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	4ヶ月、1歳6ヶ月児及びその養育者	どうしたいのか(意図)	4ヶ月、1歳6ヶ月児に絵本を配付することにより親子のふれあいを促進し、子どもが心豊かに育つ環境整備を図る	概要	事業の実施手法(手段)	出生まもない児童をもつ家庭に絵本をプレゼントすることを通して、絵本に親しむ子育てを推進し、絵本を通して子どもたちに深い愛情をもって接することで、子どもたちが心豊かに育つ環境整備を図る
	対象者数	1,700 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	4ヶ月(4か月健診後)、1歳6ヶ月児(1歳6ヶ月健診後)に絵本を配付する。 4ヶ月児 5冊のうちから選定 配付率100% 1歳6ヶ月児 10冊のうちから選定 配付率 81%							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	4ヶ月児絵本配付冊数	冊	目標値	1,000	1,000	850	850
				実績値	799	757		
				算出根拠等	達成率(%)	80	76	
	活動指標	1歳6ヶ月児絵本配付冊数	冊	目標値	1,000	1,000	850	850
				実績値	626	622		
				算出根拠等	達成率(%)	63	62	
	成果指標	4ヶ月児絵本配付率	%	目標値	100	100	100	100
				実績値	100	100		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	成果指標	1歳6ヶ月児絵本配付率	%	目標値	100	100	100	100
				実績値	76	81		
算出根拠等				達成率(%)	76	81		
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
補足								

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	1歳6カ月児の配付率の向上を図るとともに、事業効果を検証していく。
-----------------	-----------------------------------

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	1歳6カ月児の配付率の向上を図るため、絵本の引き換えをされていない対象者へ再度案内し、配付率の向上に努める。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	事業効果の検証と、絵本に親しむ子育てを推進していくために絵本の配付率向上に努める。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	・1歳6カ月児への配付率が低い理由を分析する必要がある。 ・事業開始から一定期間が過ぎていることから、効果分析を行う必要がある。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 1,267	1,119	1,700	1,700
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 889	811	1,000	1,000
	受益者	4ヶ月・1歳6ヶ月健診受給乳児及び保護者 (B)	1,425	1,379	1,700

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	4ヶ月、1歳6ヶ月児に絵本を配布することにより親子のふれあいを促進し、子どもが心豊かに育つ環境整備を図る 4ヶ月児(5種類の本の中から1冊選定) 850冊配付 1歳6ヶ月児(10種類の本の中から1冊選定) 850冊配付	要求のポイント	事業実施の課題	4ヶ月健診時の絵本の配付については、当日絵本の読み聞かせを行いその場で配布するが、1歳6ヶ月健診においては健診受診者が多い(健診回数が少ないため1回に集まる受診者数が多い)ことから、本の読み聞かせを実施する時間が取れないため、後日引き換えとなる。その結果配付率が低下する。
------	---	---------	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,700	1,700	0	1,700	1,700	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,700	1,700	0	1,700	1,700		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32182	子育て支援金	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約	7	将来を担う子どもを守り育てます
番枝				款	3	民生費		分野	1	地域福祉	実施計画事業	子育て支援助成事業			
担当課	福祉部 子育て支援課		内線	項	2	児童福祉費	基本施策	1	誰もが安心して暮らせる環境をつくる	H25実施計画額	106,000 千円				
		2946	目	1	児童福祉総務費	施策	1	暮らしへの支援							

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	出産間もない親	どうしたいのか(意図)	子育て家庭に対して経済的支援を行うことにより、産み育てやすく安心して子育てできる環境整備を行う。	概要	事業の実手法(手段)	子育て家庭に対して経済的支援を行うことにより、産み育てやすく安心して子育てできる環境整備を行う。出産から育児までの子育てに係る経済的負担の軽減 1・2人目 100千円/人、3人目以降 200千円/人
	対象者数	850 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	子育て支援金が、子育て家庭に対して経済的支援を行うことにより、産み育てやすく安心して子育てできる環境整備を行っていただくことだけでなく、地域の経済振興を図るためにできる限り市内の商店などご利用いただくよう、一人ひとりに面談の上説明した。 子育て支援金支給実績 1人目 323人、2人目 292人、3人目以降 137人 計752人							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	子育て支援金支給人数	人	目標値	850	850	850	850
				実績値	766	752		
				算出根拠等	達成率(%)	90	88	
	活動指標		人	目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
	成果指標	合計特殊出生率	指数	目標値				
				実績値	1.59			
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績値				
算出根拠等				達成率(%)				
			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足	子育て支援金の趣意書を、地域の経済振興を図るために市内の商店にて利用いただくよう、保護者の方へ説明して直接手渡している。このことにより、地域の経済振興の部分でも支援金が活用されている。							

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	同様の事業を実施している他自治体においては、国の子ども手当の支給に併せて廃止したところもある。本市においては事業を開始した平成18年から合計特殊出生率は上昇しており、一定の効果が出ていると考えるが、市全体としての出生数は減少していることについて分析が必要である。
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	平成22年度事業評価において、地域内商品券での支給による地域経済の活性化にも効果的な手法について検討していく必要があるとの評価を受けている。子育て支援金の目的である子育て家庭に対しての経済的支援のほかに、地域経済の活性化への効果的な支給方法について検討していく。					
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> <td rowspan="2">子育て支援金の効果検証を行い、地域経済の活性化への効果的な支給方法についても検討する。</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	子育て支援金の効果検証を行い、地域経済の活性化への効果的な支給方法についても検討する。	二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	子育て支援金の効果検証を行い、地域経済の活性化への効果的な支給方法についても検討する。			
二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討					
	・効果検証を行い、事業の見直しを検討する必要がある。					

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 89,500	88,900	95,000	95,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 116,841	118,218	111,765	118,750
	受益者 給付人数	(B) 766	752	850	800

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	子育て家庭に対して経済的支援を行い、産み育てやすく安心して子育てできる環境整備を行う。出産して4ヶ月健診を迎える時点で子育て支援金の申請手続きを実施。	要求のポイント	子育て家庭に対する経済的支援として給付する子育て支援金 1・2人目 100千円/人、3人目以降 200千円/人	事業実施の課題	子育て支援金は、子育て家庭に対する経済的支援や子どもを産み育てやすく安心して子育てできる環境整備に向けて実施しているが、その支援金の具体的な効果を測定する方法を検討する必要がある。
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		95,000	95,000	0	95,000	95,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	95,000	95,000	0	95,000	95,000		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32188	障がい児看護支援事業費	内線	会計	1 一般会計	総合計画	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約	7 将来を担う子どもを守り育てます
番枝				款	3 民生費		分野	2 児童福祉	実施計画事業	障がい児居宅支援事業		
担当課	福祉部 子育て支援課		2911	項	2 児童福祉費		基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	200 千円		
				目	1 児童福祉総務費		施策	1 子育て不安の解消				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	医療行為を必要とする障がい児等の家庭	どうしたいのか(意図)	医療行為を必要とする障がい児等がいる場合、常に児童に付き添って介護する必要があるが、ショートステイ又は訪問における看護支援を提供することによって、保護者の外出を可能にするとともに負担を軽減する。	概要	事業の実施手法(手段)	対象経費:看護師派遣等の費用 対象内容:経管栄養、痰の吸引、気管カニューレの管理などの医療行為 負担割合:全額助成
	対象者数	10 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	医療行為の必要な障がい児等に対するショートステイ時の看護支援及び訪問看護師おける支援。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	看護支援延利用人数	人	目標値	14	22	10	10
				実績値	6	8		
				達成率(%)	43	36		
	算出根拠等							
				目標値				
				実績値				
				達成率(%)				
	算出根拠等							
				目標値				
				実績値				
				達成率(%)				
算出根拠等								
			目標値					
			実績値					
			達成率(%)					
算出根拠等								
			目標値					
			実績値					
			達成率(%)					
算出根拠等								
補足								

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	医療行為の必要な障がい児のショートステイについては、受け入れる事業所について受入れ体制の整備、人員の確保など課題がある。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	ショートステイ事業について、利用者のニーズを把握する。利用者や事業所において利用における調整を図り、看護支援し保護者の負担を軽減する。県で実施している重度心身障害児ショートステイの要望調査に強く要望していく。	
次年度の実施方針	担当課評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	二次評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
		(担当課評価に同じ)

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	100	93	200	200
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	16,667	11,625	20,000	14,286
	受益者	サービス利用者	(B)	6	8	10

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・医療行為を必要とする障がい児に対し、ショートステイ時や自宅での訪問看護における看護支援を提供する。	要求のポイント	・ショートステイ時の看護支援・訪問看護費用の全額助成	事業実施の課題	・ショートステイ実施事業所の受入れ体制整備
------	--	---------	----------------------------	---------	-----------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		200	200	0	200	200	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	200	200	0	200	200		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32200 番枝	私立保育所児童保育委託費	会計	1 一般会計	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画／高山市第7次保育園整備5か年計画	市長公約	7 将来を担う子どもを守り育てます ・働く若い家族を支援するため、待機児童ゼロの保育整備をします。 ・保育の地域格差をなくすため、受け入れ年齢等の見直しを行い、13時間保育や夜間保育の実施を検討します。	
担当課	福祉部 子育て支援課	内線	2947	款	3 民生費	分野	2 児童福祉	実施計画事業			私立保育所児童保育委託事業
				項	2 児童福祉費	基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額			1,274,000 千円
				目	2 児童保育費	施策	3 保育環境の整備				

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	私立保育園児及び保護者	どうしたいのか(意図)	私立保育園(13園)へ保育を委託し、保護者の就労等により家庭で保育に欠ける児童を安全に保育し、健やかな成長を図る必要な保育士を配置し、自園での給食提供を行い保育園として子育て世帯への支援を行う。	概要	事業の実施手法(手段)	私立保育園に対して、国の保育単価に基づき、園の規模や児童の年齢、事業内容に応じた保育委託料を支払う。
	対象者数	19,800 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	私立保育園(13園)に対して、国の保育単価に基づき、園の規模や児童の年齢、事業内容に応じた保育委託料を支払う。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	私立(認可)保育園数	園	目標値	12	12	13	14
				実績値	12	12		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	活動指標	私立保育園延べ保育児童数	人	目標値	19,200	19,300	19,800	20,700
				実績値	18,938	19,028		
				算出根拠等	達成率(%)	99	99	
	成果面		%	目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
	成果面		%	目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
	成果面			目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
補足			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	市では、公立保育園の民間移譲を推進しており、民間移譲が進めば今後この事業は拡大していくこととなる。年々低年齢児の受け入れが増加しており、委託料が増加傾向にある。
-----------------	--

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	国の保育単価に基づき、園の規模や児童の年齢、事業内容に応じた保育委託料を支払う。		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討	国の保育単価に基づき、園の規模や児童の年齢、事業内容に応じた保育委託料を支払う。年々低年齢児の受け入れが増加しており、委託料が増加傾向にある。
	二次評価	維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討	・私立保育園の実態把握に努める必要がある。

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,093,140	1,108,362	1,269,900	1,345,560
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	57,722	58,249	64,136	65,003
	受益者	私立保育園児童	(B)	18,938	19,028	19,800

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	私立保育園に対する保育委託料	要求のポイント	低年齢児童の増加に伴う保育委託料の増額 認可保育所増に伴う保育委託料の増額	事業実施の課題	低年齢児の入所の増加に伴い、保育委託費が増加する。
------	----------------	---------	--	---------	---------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	1,269,900	1,345,560	75,660	1,341,000	1,341,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	345,990	367,085	21,095	365,040	365,040		
	県支出金	172,995	183,542	10,547	182,520	182,520		
	その他	230,034	229,121	△ 913	229,334	229,334		
	一般財源	520,881	565,812	44,931	564,106	564,106		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32210 番枝	私立保育所機能強化対策補助金	内線	2947	会計	1 一般会計	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画／高山市第7次保育園整備5か年計画	市長公約	7 将来を担う子どもを守り育てます ・働く若い家族を支援するため、待機児童ゼロの保育整備をします。 ・保育の地域格差をなくすため、受け入れ年齢等の見直しを行い、13時間保育や夜間保育の実施を検討します。
担当課	福祉部 子育て支援課			予算	3 民生費	分野	2 児童福祉	実施計画事業	私立保育所運営助成事業			
					2 児童福祉費	基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	47,200 千円			
					2 児童保育費	施策	3 保育環境の整備					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	私立保育園児及び保護者	どうしたいのか(意図)	私立保育園に対して人件費の助成を行い、特別保育等への積極的な取り組みを促し、ローテーションによる保育体制の強化を図る。	概要	事業の実手法(手段)	保育園におけるローテーション体制を確立させるため、保育士の人件費を助成し、保育園の運営を支援する。
	対象者数	19,800 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	保育園におけるローテーション体制を確立させるため、保育士の人件費を助成。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	私立保育園保育士数	人	目標値	239	259	280	252
		実績値	239	259				
		算出根拠等	達成率(%)	100	100			
	活動指標	私立保育園延べ保育児童数	人	目標値	19,200	19,300	19,800	20,700
		実績値	18,938	19,028				
		算出根拠等	達成率(%)	99	99			
	活動指標	私立(認可)保育園数	園	目標値	12	12	13	14
		実績値	12	12				
		算出根拠等	達成率(%)	100	100			
	成果面		%	目標値				
		実績値						
		算出根拠等	達成率(%)					
	成果面		%	目標値				
		実績値						
		算出根拠等	達成率(%)					
補足			目標値					
	実績値							
	算出根拠等	達成率(%)						

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	私立保育園保育士の労働環境が良好でないという意見もあり、今後、保育士の給与等の労働条件を調査するとともに、必要に応じて補助額の変更等の検討が必要となる。また、各社会福祉法人では自主的に職員の随時職員の労働条件の改善を行っており、市の助成拡大の必要性についても慎重に判断することが必要である。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	私立保育園の実態把握に努めるとともに、各保育園運営法人とも綿密に協議しながら必要な支援の方針を検討する。		
次年度の実施方針	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	私立保育園に対して人件費の助成を行い、特別保育等への積極的な取り組みを促し、ローテーションによる保育体制の強化を図る。私立保育園の実態把握に努める。
	二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	41,868	41,868	44,320	46,755
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,211	2,200	2,238	2,259
	受益者	私立保育園児童	(B)	18,938	19,028	19,800

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	保育園におけるローテーション体制を確立させるための保育士人件費の助成	要求のポイント	認可保育所増に伴う補助金の増額	事業実施の課題	高山市内の保育園は、全園で土曜日の保育実施、延長保育も実施されているが、このようなローテーション体制をとるために保育士の負担は大きく、人員の確保が保育業務の円滑な実施を進める上で重要である
------	------------------------------------	---------	-----------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		44,320	46,755	2,435	46,760	46,760	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	44,320	46,755	2,435	46,760	46,760		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32215 番枝	私立保育所運営費等補助金	内線	2947	会計	1 一般会計	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画／高山市第7次保育園整備5か年計画	市長公約	7 将来を担う子どもを守り育てます ・働く若い家族を支援するため、待機児童ゼロの保育整備をします。 ・保育の地域格差をなくすため、受け入れ年齢等の見直しを行い、13時間保育や夜間保育の実施を検討します。
担当課	福祉部 子育て支援課				款	3 民生費	分野	2 児童福祉	実施計画事業	私立保育所運営助成事業		
					項	2 児童福祉費	基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	17,300 千円		
					目	2 児童保育費	施策	3 保育環境の整備				

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	私立保育園を運営する社会福祉法人	どうしたいのか(意図)	社会福祉法人に対し運営費や共済掛金の助成を行うことにより、法人の運営基盤の強化を図る。	概要	事業の実手法(手段)	4月1日の入園児数に応じ、運営費助成している。私立保育所職員の共済掛金(退職積立)の事業主負担を助成している。
	対象者数	19,800 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	4月1日の入園児数に応じ、運営費を助成。私立保育所職員の共済掛金(退職積立)の事業主負担の助成。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	私立保育園保育士数	人	目標値	239	259	225	252
				実績値	239	259		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	活動指標	私立保育園延べ保育児童数	人	目標値	19,200	19,300	19,800	20,700
				実績値	18,938	19,028		
				算出根拠等	達成率(%)	99	99	
	活動指標	委託保育園数	園	目標値	12	12	13	14
				実績値	12	12		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	成果面		%	目標値				
				実績値				
算出根拠等				達成率(%)				
成果面		%	目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	私立保育園の実態把握に努める必要がある。
-----------------	----------------------

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	私立保育園の実態把握に努めるとともに、各保育園運営法人とも綿密に協議しながら必要な支援の方針を検討する。		
次年度の実施方針	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	社会福祉法人に対し運営費や共済掛金の助成を行うことにより、法人の運営基盤の強化を図る。私立保育園の実態把握に努める。
	二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 14,101	14,720	17,269	18,949
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 745	774	872	915
	受益者	私立保育園児童 (B)	18,938	19,028	19,800

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	私立保育所運営費の助成	要求のポイント	認可保育所増に伴う補助金の増額	事業実施の課題	社会福祉法人の運営は、保育所運営費の範囲内で行われるため、厳しい法律上の制限がある。保育実施のために、保育士の確保が必要である。
------	-------------	---------	-----------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		17,269	18,949	1,680	18,945	18,945	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	17,269	18,949	1,680	18,945	18,945		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32220	長時間保育促進事業補助金	内線	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画／高山市第7次保育園整備5か年計画	市長公約	7	将来を担う子どもを守り育てます ・働く若い家族を支援するため、待機児童ゼロの保育整備をします。 ・保育の地域格差をなくすため、受け入れ年齢等の見直しを行い、13時間保育や夜間保育の実施を検討します。
番枝				款	3	民生費		分野	2	児童福祉	実施計画事業	私立保育所保育サービス支援事業			
担当課		福祉部 子育て支援課	2947	項	2	児童福祉費		基本施策	1	次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	84,000 千円			
				目	2	児童保育費		施策	3	保育環境の整備					

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	保育園児および保護者	どうしたいのか(意図)	保護者の就労形態の多様化に伴い、早朝から夕方までの保育ニーズに対応するため、私立保育園での12時間保育実施に対し、必要な経費への助成を行う。	概要	事業の実施手法(手段)	延長保育実施のための人件費助成を行う。
	対象者数	19,800 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	延長保育実施のための人件費助成							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	私立の延長保育利用人数	人	目標値	21,222	25,026	25,000	27,000
				実績値	21,222	25,026		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	活動指標	私立保育園延べ保育児童数	人	目標値	19,200	19,300	19,800	20,700
				実績値	18,938	19,028		
				算出根拠等	達成率(%)	99	99	
	活動指標	委託保育園数	園	目標値	12	12	13	14
				実績値	12	12		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	成果面		%	目標値				
				実績値				
算出根拠等				達成率(%)				
成果面		%	目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	保護者の就労形態の多様化に伴い、早朝から夕方までの保育ニーズに対応するため、13時間保育の可能性について検討を行うとともに、必要な施設改修等の実施等の検討を行う必要がある。
-----------------	--

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	市民ニーズの把握に努める。	
次年度の実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	保護者の就労形態の多様化に伴い、早朝から夕方までの保育ニーズに対応するため、私立保育園での12時間保育実施に対し、必要な経費への助成を行う。 市民ニーズの把握に努める。
	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	72,000	70,656	76,544	82,432
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	3,802	3,713	3,866	3,982
	受益者	私立保育園児童	(B)	18,938	19,028	19,800

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	長時間保育を実施する私立保育園に対する助成	要求のポイント	認可保育所増に伴う補助金の増額	事業実施の課題	保護者の保育ニーズ調査(H22年10月実施)の結果をもとに、法人との拡大の検討が必要である。サービスの充実にあたっては、保育士の確保が必要である。
------	-----------------------	---------	-----------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		76,544	82,432	5,888	82,432	82,432	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	51,029	54,950	3,921	54,954	54,954		
	その他			0				
一般財源		25,515	27,482	1,967	27,478	27,478		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32225 番枝	低年齢児保育対策補助金	内線	2947	会計	1 一般会計	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画／高山市第7次保育園整備5か年計画	市長公約	7 将来を担う子どもを守り育てます ・働く若い家族を支援するため、待機児童ゼロの保育整備をします。 ・保育の地域格差をなくすため、受け入れ年齢等の見直しを行い、13時間保育や夜間保育の実施を検討します。
担当課	福祉部 子育て支援課			款	3 民生費	分野	2 児童福祉	実施計画事業	私立保育所保育サービス支援事業			
				項	2 児童福祉費	基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	18,000 千円			
				目	2 児童保育費	施策	3 保育環境の整備					

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	私立保育園児及び保護者	どうしたいのか(意図)	保護者が安心して働くことのできる環境を整備するために、年度途中に入園する低年齢児を保育するための保育士配置に対して助成することで、低年齢児保育の充実を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	年度途中入園児の受入体制整備のため、年度当初から保育士を配置している保育所に対して助成。
	対象者数	19,800 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	年度途中入園児の受入体制整備のため、年度当初から保育士を配置している保育所に対して助成							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	年度途中入園児数 (3歳未満、私立受入分)	人	目標値	161	132	190	190
				実績値	161	132		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	活動指標	私立保育園延べ保育児童数	人	目標値	19,200	19,300	19,800	20,700
				実績値	18,938	19,028		
				算出根拠等	達成率(%)	99	99	
	活動指標	委託保育園数	園	目標値	12	12	13	14
				実績値	12	12		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	成果面		%	目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
成果面		%	目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	増加傾向にある年度途中での未満児の入園希望への対応について、施設、人員配置等の検討が必要である。未満児の受け入れのための保育士確保が困難な場合がある。
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	保育士ネットワークの活用や、慢性的な保育士不足に対処するため、継続した保育士募集(確保)が必要である。			
次年度の実施方針	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	保護者が安心して働くことのできる環境を整備するために、年度途中に入園する低年齢児を保育するための保育士配置に対して助成することで、低年齢児保育の充実を図る。	
	二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討		(担当課評価に同じ)

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	13,090	15,708	17,017	18,326
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	691	826	859	885
	受益者	私立保育園児童	(B)	18,938	19,028	19,800

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	年度途中入園の低年齢児受入のため、年度当初から保育士を配置する私立保育園への助成	要求のポイント	認可保育所増に伴う補助金の増額	事業実施の課題
------	--	---------	-----------------	---------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		17,017	18,326	1,309	18,326	18,326	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	8,508	9,163	655	9,163	9,163		
	その他			0				
	一般財源	8,509	9,163	654	9,163	9,163		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32230 番枝	障がい児保育事業補助金	会計	1 一般会計	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画／高山市第7次保育園整備5か年計画	市長公約	7 将来を担う子どもを守り育てます ・働く若い家族を支援するため、待機児童ゼロの保育整備をします。 ・保育の地域格差をなくすため、受け入れ年齢等の見直しを行い、13時間保育や夜間保育の実施を検討します。
担当課		福祉部 子育て支援課	款	3 民生費	分野	2 児童福祉	実施計画事業	私立保育所保育サービス支援事業		
		内線	項	2 児童福祉費	基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	24,000 千円		
		2947	目	2 児童保育費	施策	3 保育環境の整備				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	私立保育園児及び保護者	どうしたいのか(意図)	障がいを持つ児童や、集団の中で発達障がい等が疑われたり、保育士の個別見守りを必要とする児童を、私立保育園において安全に保育する体制を整備するため、保育士の加配人件費に対して補助を行う。	概要	事業の実手法(手段)	障がいを持つ児童等を安全に保育して、他の児童との触れ合いの中で成長を促すための、加配保育士配置に必要な人件費を助成
	対象者数	19,800 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	障がいを持つ児童等を安全に保育して、他の児童との触れ合いの中で成長を促すための、加配保育士配置に必要な人件費を助成							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	加配を必要とする園児人数(私立のみ)	人	目標値	42	51	48	47
				実績値	42	51		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	活動指標	私立保育園延べ保育児童数	人	目標値	19,200	19,300	19,800	20,700
				実績値	18,938	19,028		
				算出根拠等	達成率(%)	99	99	
	活動指標	委託保育園数	園	目標値	12	12	13	14
				実績値	12	12		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	成果面		%	目標値				
				実績値				
算出根拠等				達成率(%)				
成果面		%	目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	入園を希望する障がい児が増加傾向にある。
-----------------	----------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	障がいを持つ児童や、集団の中で発達障がい等が疑われたり、保育士の個別見守りを必要とする児童を、私立保育園において安全に保育する体制を整備するため、保育士の加配人件費に対して補助を行う。	
次年度の実施方針	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	(担当課評価に同じ)	
	障がいを持つ児童や、集団の中で発達障がい等が疑われたり、保育士の個別見守りを必要とする児童を、私立保育園において安全に保育する体制を整備するため、保育士の加配人件費に対して補助を行う。	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 19,935	25,043	23,000	26,010
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 1,053	1,316	1,162	1,257
	受益者	私立保育園児童 (B) 18,938	19,028	19,800	20,700

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	児童の状況に合わせて、安全確保のための加配保育士を配置する私立保育園への助成	要求のポイント	認可保育所増に伴う補助金の増額	事業実施の課題	平成20年度から国、県の補助制度が廃止され、市の単独事業となっている。発達障がいなど保育園での発見により適切な対応につながる場合も多くあり、他機関との連携や継続した支援が必要である。
------	--	---------	-----------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		23,000	26,010	3,010	23,000	23,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	23,000	26,010	3,010	23,000	23,000		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32232	一時保育事業費補助金	会計	1 一般会計	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画／高山市第7次保育園整備5か年計画	市長公約	7 将来を担う子どもを守り育てます ・働く若い家族を支援するため、待機児童ゼロの保育整備をします。 ・保育の地域格差をなくすため、受け入れ年齢等の見直しを行い、13時間保育や夜間保育の実施を検討します。
番枝			款	3 民生費	分野	2 児童福祉	実施計画事業	私立保育所保育サービス支援事業		
担当課		福祉部 子育て支援課	項	2 児童福祉費	基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	8,000 千円		
		内線 2947	目	2 児童保育費	施策	3 保育環境の整備				

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	就園前の児童および保護者	どうしたいのか(意図)	非定型的就労、一時的な疾病、介護、私的理由等による一時保育を私立保育園で実施することにより、家庭で子育てを行っている世帯への支援を行う。	概要	事業の実手法(手段)	一時的に保育園で保育が必要な緊急時やリフレッシュ等のニーズに対応するため、保育園へ入園する基準には達しない世帯が利用できる事業に必要な人件費を助成
	対象者数	19,800 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	一時保育事業に必要な人件費を助成							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	一時保育延べ利用人数(私立のみ)	人	目標値	2,503	2,870	2,900	3,000
				実績値	2,503	2,870		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	活動指標	委託保育園数(一時保育実施)	園	目標値	6	6	7	8
				実績値	6	6		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	成果面		%	目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
	成果面		%	目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
	成果面			目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
補足			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	一時保育実施園の検討。 市民ニーズの把握に努める。
-----------------	------------------------------

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	非定型的就労、一時的な疾病、介護、私的理由等による一時保育を私立保育園で実施することにより、家庭で子育てを行っている世帯への支援を行う。 市民ニーズの把握に努める。	
次年度の実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	非定型的就労、一時的な疾病、介護、私的理由等による一時保育を私立保育園で実施することにより、家庭で子育てを行っている世帯への支援を行う。
	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	6,300	6,063	6,820	7,340
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,517	2,113	2,352	2,447
	受益者	一時保育利用人数	(B)	2,503	2,870	2,900

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	一時保育を実施する私立保育園への助成	要求のポイント	認可保育所増に伴う補助金の増額	事業実施の課題
------	--------------------	---------	-----------------	---------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	6,820	7,340	520	7,340	7,340	・要求どおり	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	3,410	3,670	260	3,670	3,670		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	3,410	3,670	260	3,670	3,670		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32300	公立保育園事業費	会計	1 一般会計	総合計画	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画／高山市第7次保育園整備5か年計画	市長公約	7 将来を担う子どもを守り育てます ・働く若い家族を支援するため、待機児童ゼロの保育整備をします。 ・保育の地域格差をなくすため、受け入れ年齢等の見直しを行い、13時間保育や夜間保育の実施を検討します。
	番枝			3 民生費		分野	2 児童福祉		実施計画事業		
担当課	福祉部 子育て支援課		予算	2 児童福祉費	基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	291,500 千円			
	内線	2947		3 保育園費		3 保育環境の整備					

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	公立保育園児および保護者	どうしたいのか(意図)	公立保育園(へき地保育所を含む)11園で、保護者の就労等により家庭で保育に欠ける児童を安全に保育し、健やかな成長を担う。 必要な保育士を配置し、自園での給食提供(こくふ保3歳以上児除く)を行い、保育園として子育て世帯への支援を行う。	概要	事業の実施手法(手段)	公立保育園の運営事業 老朽化した保育園の安全確保のための改修、保育・給食備品の更新など 公立保育園の民間移譲に向けての保育内容の引継ぎ等の準備
	対象者数	11,800 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	公立保育園(12園)の運営							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	公立保育園数	園	目標値	12	12	11	11
				実績値	12	12		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	活動指標	公立保育園延べ保育児童数	人	目標値	12,580	12,438	11,800	13,320
				実績値	12,580	12,438		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	成果面		%	目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
	成果面		%	目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
	成果面			目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
補足			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	老朽化した保育園の計画的な修繕の実施。 受け入れ年齢等の見直し、13時間保育の実施の検討。
-----------------	--

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	破損個所の修繕。	
次年度の実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	公立保育園の保育士の正規職員は大幅に減少し、クラス担任の不足分を臨時保育士で補完している状態であるため、年々賃金予算が増加している。また、低年齢児の受入数が増加し、保育士の確保、受入施設の整備、老朽化した施設、備品の計画的な改修等が必要である。開所時間や受入年齢などの地域格差の是正や、保育内容の向上について、ニーズを調査し、公立としての役割を果たす必要がある。
	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	312,367	362,635	314,209	562,261
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	24,830	29,155	26,628	42,212
	受益者	公立保育園児童	(B)	12,580	12,438	11,800

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	公立保育園の運営	要求のポイント	公立保育園の運営にかかる経費 民間移譲に伴う施設修繕料・備品購入費の増	事業実施の課題	低年齢児の受入数の増加に対応して、保育士の確保や施設の整備改修が必要である。 老朽化した保育園の安全確保のための改修、備品の更新を順次実施するとともに、開所時間や受入年齢などの地域格差の是正や、保育内容の向上についても、ニーズ調査の結果をもとに検討する必要がある。
------	----------	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		314,209	562,261	248,052	434,330	434,330	・積算内容を精査 ・民間移譲に伴う施設整備、合同保育に要する経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	2,610	2,610	0	2,610	2,610		
	県支出金			0				
	その他	159,793	143,151	△ 16,642	141,932	141,932		
	一般財源	151,806	416,500	264,694	289,788	289,788		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32307 番枝	休日保育事業費	会計	1 一般会計	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画／高山市第7次保育園整備5か年計画	市長公約	7 将来を担う子どもを守り育てます ・働く若い家族を支援するため、待機児童ゼロの保育整備をします。 ・保育の地域格差をなくすため、受け入れ年齢等の見直しを行い、13時間保育や夜間保育の実施を検討します。	
担当課	福祉部 子育て支援課	内線	2947	款	3 民生費	分野	2 児童福祉	実施計画事業			休日保育事業
				項	2 児童福祉費	基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額			1,500 千円
				目	3 保育園費	施策	3 保育環境の整備				

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	公・私立の保育園を利用する児童、保護者(市内の認可保育園利用児全員を対象)	どうしたいのか(意図)	保護者の就労形態の多様化に伴い、岡本保育園において休日の保育を実施することにより、安心して子どもを預けることができる環境を整える。	概要	事業の実手法(手段)	公立保育園(岡本保育園)での休日保育の実施 市内の認可保育所に入園している児童すべてを対象としている
	対象者数	31,600 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	公立保育園(岡本保育園)での休日保育の実施							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	休日保育利用人数	人	目標値	360	360	500	600
				実績値	429	530		
				算出根拠等	達成率(%)	119	147	
	活動指標	公立・私立保育園延べ保育児童数	人	目標値	31,518	31,466	31,600	34,020
				実績値	31,518	31,466		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	成果面		%	目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
	成果面		%	目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
	成果面			目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
補足			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	利用者が増加傾向にあり、休日保育のあり方について検討する必要がある。
-----------------	------------------------------------

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	利用状況を調査し、休日保育のあり方について検討する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	保護者の就労形態の多様化に伴い、岡本保育園において休日の保育を実施することにより、安心して子どもを預けることができる環境を整える。 休日専門の保育士の確保が困難なため、これまで各公立保育園の保育士が交代で勤務し、その代休部分に賃金保育士が代わって保育をする形で実施してきたが、4週8休や延長保育などのローテーション体制に、さらに休日保育代休分が入ることで、クラス担任が自分の受け持ちクラスで保育する時間が少なくなり、保護者からの苦情も増えている。 休日や早朝、夕方などの時間帯に勤務する保育士を確保するための、賃金体系の検討が必要である。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・保育サービスに対する評価を行ったうえで、休日保育のあり方について検討する必要がある。

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,416	1,370	1,510	1,616
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	45	43	48	48
	受益者	公立・私立保育園児童	(B)	31,518	31,566	31,600

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	日曜、祝祭日の保育実施	要求のポイント	日曜、祝祭日の保育実施に伴う経費	事業実施の課題
------	-------------	---------	------------------	---------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,510	1,616	106	1,510	1,510	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	673	744	71	673	673		
	その他	500	500	0	500	500		
	一般財源	337	372	35	337	337		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32310 番枝	地域子育て支援センター事業費	会計	1 一般会計	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約 7 将来を担う子どもを守り育てます
			款	3 民生費	分野	2 児童福祉	実施計画事業	地域子育て支援センター運営事業、児童施設維持修繕事業	
担当課		福祉部 子育て支援課	項	2 児童福祉費	基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	2,300 千円	
		内線 2946	目	3 保育園費	施策	1 子育て環境の整備			

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	乳幼児親子	どうしたいのか(意図)	地域の子育て家庭に対する育児支援を行い、乳幼児親子の交流を促進する。	概要	事業の実手法(手段)	子育て支援センターの持つ専門的機能を活用し、地域の子育て家庭に対する育児支援 中学生や高校生等と乳幼児親子が世代を越えた交流事業の実施
	対象者数	10,920 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	子育て支援センターとしての事業実施 あそびの広場・すくすくランド・育児相談							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	あそびの広場、すくすくランド開催回数 ※野外行事を除く	回	目標値	100	100	100	100
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)	0	102	
	活動指標	育児相談件数	件	目標値	250	250	250	250
				実績値	582	588		
				算出根拠等	達成率(%)	233	235	
	成果指標	あそびの広場、すくすくランド利用人数 ※野外行事を除く	人	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000
				実績値	10,393	10,920		
				算出根拠等	達成率(%)	104	109	
				目標値				
				実績値				
			算出根拠等	達成率(%)				
			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足								

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	子育て支援センターの事業への参加者は年々増加しており、各種事業に対する成果は上がっている。しかし、今後さらに利用者ニーズに対応した事業の実施を検討する必要がある。
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	各種事業実施時のアンケート結果を踏まえて、市全体としての事業の在り方について検討する。					
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> <td rowspan="2">子育て支援センターの事業に対するアンケート結果等を踏まえた利用者ニーズの確認及び実施方針を検討していく。</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	子育て支援センターの事業に対するアンケート結果等を踏まえた利用者ニーズの確認及び実施方針を検討していく。	二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	子育て支援センターの事業に対するアンケート結果等を踏まえた利用者ニーズの確認及び実施方針を検討していく。			
二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討					
	(担当課評価に同じ)					

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,116	2,075	2,240	2,276
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	204	190	224	228
	受益者 利用者数	(B)	10,393	10,920	10,000	10,000

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	地域子育て支援センターとしての事業実施 あそびの広場・すくすくランド・育児相談	要求のポイント	地域子育て支援センターの管理・運営に関する経費	事業実施の課題	地域子育て支援センターの事業への参加者は年々増加しており、各種事業に対する成果は上がっていると考える。しかし、多くの事業とは別に育児相談などを受ける落ち着いた時間も必要と考えるため、今後は利用者のニーズも参考に事業の実施を検討する必要がある。
------	--	---------	-------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,240	2,276	36	2,240	2,240	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	1,120	1,138	18	1,120	1,120		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,120	1,138	18	1,120	1,120		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32330	公立保育園通園バス事業費	会計	1 一般会計	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画／高山市第7次保育園整備5か年計画	市長公約	7 将来を担う子どもを守り育てます ・働く若い家族を支援するため、待機児童ゼロの保育整備をします。 ・保育の地域格差をなくすため、受け入れ年齢等の見直しを行い、13時間保育や夜間保育の実施を検討します。
番枝			款	3 民生費	分野	2 児童福祉	実施計画事業	通園バス整備事業		
担当課		福祉部 子育て支援課	項	2 児童福祉費	基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	6,000 千円		
		内線 2947	目	3 保育園費	施策	3 保育環境の整備				

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	公立保育園児および保護者	どうしたいのか(意図)	通園バスを運行することにより、保育園への遠隔地域からの通園手段を維持する。 (対象園:こま草、久々野、朝日、高根)	概要	事業の実手法(手段)	通園バスの維持管理に必要な経費、バス運転手の賃金、代替分賃金等
	対象者数	19,800 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	通園バスの運行。 (対象園:こま草、宮、久々野、朝日、高根) 宮保育園通園バスの更新							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	通園バスの運行台数	台	目標値	5	5	4	4
				実績値	5	5		
		算出根拠等		達成率(%)	100	100		
	活動指標	公立保育園延べ保育児童数	人	目標値	12,580	12,438	11,800	13,320
				実績値	12,580	12,438		
		算出根拠等		達成率(%)	100	100		
	成果面		%	目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
	成果面		%	目標値				
				実績値				
算出根拠等			達成率(%)					
成果面			目標値					
			実績値					
	算出根拠等		達成率(%)					
補足			目標値					
			実績値					
	算出根拠等		達成率(%)					

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	通園バスがない園があることも考慮し、今後は利用者負担(使用料徴収)について検討する必要がある。
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	公立保育園の民間移譲に合わせて、利用者負担を設定する必要がある。公共交通の有効活用により、通園バス運行経費の削減の検討が必要である。	
次年度の実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	地域の保育園への通園手段の確保を望んでいる。 通園バスを運行することにより、保育園への遠隔地域からの通園手段を維持する。 公共交通の有効活用について検討を行う。 (対象園:こま草、久々野、朝日、高根)
	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・通園バスがない園があることも考慮し、今後は利用者負担(使用料徴収)について検討する必要がある。

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 3,408	8,085	4,290	11,017
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 271	650	364	827
	受益者	公立保育園児童 (B)	12,580	12,438	11,800

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	通園バスの維持管理に必要な経費、バス運転手の賃金等	要求のポイント	通園バスの更新	事業実施の課題	市町村合併以前からのバス運営形態が続いており、利用方法等について検討が必要である。 園バスがない園があることも考慮し、今後は利用者負担(使用料徴収)について検討する必要がある。
------	---------------------------	---------	---------	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		4,290	11,017	6,727	9,290	9,290	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
一般財源		4,290	11,017	6,727	9,290	9,290		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32400 番枝	児童センター運営委託費	内線	2946	会計	1 一般会計	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約 7 将来を担う子どもを守り育てます
担当課	福祉部 子育て支援課			款	3 民生費	分野	1 児童福祉	実施計画事業	児童センター等運営事業		
				項	2 児童福祉費	基本施策	1 次代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	68,300 千円		
				目	4 児童センター費	施策	2 子育て環境の整備				

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	児童及びその養育者	どうしたいのか(意図)	健全な遊びを提供することにより、児童の健康を増進するとともに情操豊かな成長を図る。	概要	事業の実手法(手段)	児童センター・児童館の運営委託
	対象者数	72,853 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	児童センター運営のための委託料支払い 城山・昭和・山王児童センター、ふれあい児童館 (指定管理制度)							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	城山、昭和、山王児童センター及びふれあい児童館利用者数	人	目標値	70,000	70,000	70,000	70,000
				実績値	73,094	72,853		
				算出根拠等	達成率(%)	104	104	
	成果指標	各種事業の実施回数	日	目標値	570	570	570	570
				実績値	572	580		
				算出根拠等	達成率(%)	100	102	
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
補足								

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	指定管理者による委託事業として、利用者のニーズに応えた細やかなサービスの提供に努めていく必要がある。年少扶養控除の廃止等による地方財政の増収分対応で、民間児童館活動事業費等補助金については平成23年度までの事業となった。
-----------------	--

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	利用者のニーズ調査の結果を踏まえて、より細やかなサービスの提供に努めていく。	
次年度の実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	利用者のニーズ調査の結果を踏まえて、より細やかなサービスの提供に努めていく。
	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	(担当課評価に同じ)

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 61,752	61,800	61,800	61,800
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 845	848	883	883
	受益者	児童館利用者数 (B)	73,094	72,853	70,000

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	児童センターの運営委託 城山・昭和・山王児童センター、ふれあい児童館	要求のポイント	児童センターの指定管理料	事業実施の課題	施設の老朽化による修繕箇所が増えているため、指定管理者との協議により適切な施設管理に努めていく必要がある。利用ニーズも踏まえて整備を検討していく。
------	---------------------------------------	---------	--------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		61,800	61,800	0	61,800	61,800	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	61,800	61,800	0	61,800	61,800		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32410	児童センター等管理費	会計	1 一般会計	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約 7 将来を担う子どもを守り育てます
番枝			款	3 民生費	分野	2 児童福祉	実施計画事業	児童センター等運営事業	
担当課		福祉部 子育て支援課	項	2 児童福祉費	基本施策	1 次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	H25実施計画額	700 千円	
		内線 2946	目	4 児童センター費	施策	1 子育て環境の整備			

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	児童及びその養育者	どうしたいのか(意図)	健全な遊びを提供することにより、児童の健康を増進するとともに情操豊かな成長を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	国府児童館の運営 児童館・児童センターの管理
	対象者数	15,000 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	国府児童館管理事業費 児童館・児童センターの管理費							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	国府児童館開設日数	日	目標値	291	291	295	295
				実績値	291	291		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	活動指標	国府児童館利用者数	人	目標値	15,000	15,000	15,000	15,000
				実績値	13,326	12,843		
				算出根拠等	達成率(%)	89	86	
	活動指標	各種事業の実施回数	回	目標値	50	50	50	50
				実績値	53	52		
				算出根拠等	達成率(%)	106	104	
	成果面			目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
成果面			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
成果面			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足								

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	平成23年度は利用者数が減少しているが、児童館における無料の学童保育を他の地域で実施している留守家庭児童教室に統一していく方向で、児童館の運営方法を検討していく必要がある。
-----------------	--

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	国府児童館の地域での必要性と、児童館施設内で開設されている学童保育を留守家庭児童教室に変えて、その運営方法や開設場所を検討する。					
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> <td rowspan="2">国府児童館以外での留守家庭児童教室の開設と国府児童館の運営方法について検討する。</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	国府児童館以外での留守家庭児童教室の開設と国府児童館の運営方法について検討する。	二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	国府児童館以外での留守家庭児童教室の開設と国府児童館の運営方法について検討する。			
二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討					
	(担当課評価に同じ)					

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 2,245	2,249	2,708	3,387
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 168	175	181	226
	受益者 利用者数	(B) 13,326	12,843	15,000	15,000

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	国府児童館の運営 児童館・児童センターの管理	要求のポイント	事業実施の課題	国府児童館以外での留守家庭児童教室の開設と国府児童館の運営方法についての方針決定。
------	---------------------------	---------	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,708	3,387	679	3,028	3,028	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
一般財源		2,708	3,387	679	3,028	3,028		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32500 番枝	児童手当給付事業費	会計	1 一般会計	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	児童手当給付事業	市長公約 7 将来を担う子どもを守り育てます
担当課	福祉部 子育て支援課	内線	款	3 民生費	分野	1 地域福祉	実施計画事業	児童手当給付事業	
	2946		項	2 児童福祉費	基本施策	2 誰もが安心して暮らせる環境をつくる	H25実施計画額	1,660,000 千円	
			目	5 児童手当費	施策	2 暮らしへの支援			

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	児童及びその養育者	どうしたいのか(意図)	児童の健全な育成及び子育て世帯の経済的支援	概要	事業の実手法(手段)	児童手当月額	3歳未満 15,000円 3歳～小学生 第1子・第2子 10,000円 中学生 10,000円 所得制限超 5,000円	第3子以降 15,000円
	対象者数	13,000 人							

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	中学校修了前の子どもの養育者に対して支給 平成23年 4月から9月まで 一律 13,000円/月 2月、6月、10月に支給 平成23年10月から平成24年3月まで 年齢区分等により 10,000円～15,000円支給							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	成果指標	受給者数(年度末)	人	目標値	7,000	7,000	7,000	7,000
				実績値	6,349	9,274		
		算出根拠等		達成率(%)	91	132		
	成果指標	支給対象児童数(年度末)	人	目標値	12,800	12,500	13,000	12,250
				実績値	12,644	12,478		
		算出根拠等		達成率(%)	99	100		
	成果面			目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
	成果面			目標値				
				実績値				
算出根拠等			達成率(%)					
補足			目標値					
			実績値					
	算出根拠等		達成率(%)					

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況		
次年度の 実施方針	担当課評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	二次評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 1,734,774	1,833,977	1,660,301	1,653,548
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 137,201	146,977	127,715	127,196
	受益者 支給対象児童数	(B) 12,644	12,478	13,000	13,000

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	児童の健全な育成および資質の向上を目的とし、中学校修了前の子どもの養育者に対して支給。 【児童手当月額】 3歳未満 15,000円 3歳～小学生 第1子・第2子 10,000円 ・ 第3子以降 15,000円 中学生 10,000円 所得制限超 5,000円	要求のポイント	児童手当の給付および給付にかかる事務経費	事業実施の課題
------	--	---------	----------------------	---------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	1,660,301	1,653,548	△ 6,753	1,640,931	1,640,931	積算内容を精査	財務部査定のとおり
	国庫支出金	1,165,002	1,147,163	△ 17,839	1,138,363	1,138,363		
	県支出金	247,492	252,663	5,171	250,813	250,813		
	その他			0				
	一般財源	247,807	253,722	5,915	251,755	251,755		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	32510 番 枝	児童扶養手当給付事業費	内線	2946	予算	会計 1 一般会計	政策 2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約	7 将来を担う子どもを守り育てます
担当課	福祉部 子育て支援課					款 3 民生費	分野 1 地域福祉	実施計画事業	児童扶養手当給付事業		
						項 2 児童福祉費	基本施策 2 誰もが安心して暮らせる環境をつくる	H25実施計画額	331,000 千円		
						目 5 児童手当費	施策 2 暮らしへの支援				

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	児童及びその養育者	どうしたいのか(意図)	父又は母と生計を同じくしていない児童が養育されている家庭の生活の安定と自立の促進を図る。	概要	事業の実手法(手段)	当該児童について児童扶養手当を支給し、もって児童福祉の増進を図る
	対象者数	832 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績		児童扶養手当給付事業							
		指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25	
成果面	成果指標	受給者数(年度末)	人	目標値	853	898	832	810	
				実績値	797	820			
		算出根拠等	達成率(%)	93	91				
					目標値				
					実績値				
		算出根拠等	達成率(%)						
					目標値				
					実績値				
		算出根拠等	達成率(%)						
					目標値				
					実績値				
		算出根拠等	達成率(%)						
補足				目標値					
				実績値					
	算出根拠等	達成率(%)							

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	二次評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	306,710	325,035	340,070
受益者1件当たり(円)	(A/B)	384,831	396,384	408,738	419,364
受益者	児童扶養手当受給者 (B)	797	820	832	832

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	児童扶養手当給付事業 平成25年 9月まで 41,430円/月 平成25年10月から 41,140円/月 ※所得制限により減額や支給停止となる	要求のポイント	児童扶養手当給付及び給付にかかる事務経費	事業実施の課題
------	--	---------	----------------------	---------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		340,070	348,911	8,841	340,070	340,070	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	113,333	116,266	2,933	113,333	113,333		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	226,737	232,645	5,908	226,737	226,737		